



Kawai Musical Instruments Manufacturing Co., Ltd.  
Kawai Report 2023

# KAWAI Report 2023

Sustainability  
Environment  
Social  
Governance

  
*SHIGERU KAWAI*

**KAWAI**  
もっと伝えたい、感動を。

## 経営の理念

---

### 創造性豊かな好感度企業をめざして …

---

快適で豊かな生活環境を創造します  
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します  
新しい時代に向かって企業活動を推進します  
社員を大切にし、明るい企業をめざします

## 行動指針

---

### 現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて …

---

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう  
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう  
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう  
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう  
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

創業以来私たちはより良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的として  
企業活動を続けてきました。

社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の  
生活文化に貢献してゆくために、カワイは経営の理念及び行動指針に則り、  
企業活動を推進してまいります。

# 目次

## カワイグループについて

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| 経営の理念・行動指針                  | 1 |
| トップメッセージ                    | 3 |
| カワイグループのあゆみ                 | 4 |
| 第7次中期経営計画「Resonate 2024」の概要 | 5 |

## サステナビリティ

|                    |   |
|--------------------|---|
| サステナビリティ方針         | 7 |
| 環境・社会への取り組み        | 8 |
| 取り組みのポリシーと関連するSDGs | 9 |

## 環境に対する取り組み

|        |    |
|--------|----|
| 環境負荷低減 | 11 |
| 資源循環   | 15 |
| 植林・植樹  | 16 |
| 気候変動   | 17 |

## 社会に対する取り組み

|            |    |
|------------|----|
| 文化貢献       | 19 |
| 教育・育成      | 21 |
| 人財育成       | 24 |
| ダイバーシティ    | 25 |
| ワークライフバランス | 26 |
| 健康経営       | 27 |
| 社会貢献       | 28 |
| 品質・顧客満足    | 29 |

## コーポレート・ガバナンスに対する取り組み

|              |    |
|--------------|----|
| コーポレート・ガバナンス | 30 |
| リスクマネジメント    | 33 |
| コンプライアンス     | 34 |

## 資料編

|                    |    |
|--------------------|----|
| 会社概要と主な事業          | 35 |
| 資源・エネルギー投入量と廃棄・排出量 | 36 |
| 環境負荷データ            | 37 |
| 第三者意見              | 38 |

## 編集方針

### ■ 内容

2022年度より、本レポートは「環境社会報告書」から「KAWAI Report」に改称しました。

従来の「環境社会報告書」の内容に加え“サステナビリティに関する取り組み”について掲載した報告書となっています。各項目の方針（ポリシー）やSDGsとの関連を明らかにすることで、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

### ■ 対象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など全てのステークホルダーの皆様を対象としています。

### ■ 報告対象期間

2022年度（2022年4月～2023年3月）を主体としています。一部重要な事項につきましては対象期間以外の情報を含んでいます。また、集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

### ■ 報告対象組織

(株)河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場

カワイ精密金属(株)

(株)カワイキャスティング

(株)カワイハイパーウッド

(株)カワイ音響システム

※一部その他のグループ会社の活動も報告しています

## TOP MESSAGE

トップメッセージ

長期ビジョン『100年ブランドの確立』のもと  
100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、  
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に  
取り組めます。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆



新型コロナウイルス感染症の拡大から早3年、ようやく  
感染状況が落ち着き、マスクの着用は個人の判断に委ねら  
れることとなりました。これまで感染拡大防止のために日々  
奮闘されてきました医療機関の皆様に改めて感謝申し上げ  
ます。

### ■ 第7次中期経営計画『Resonate 2024』への取り組み

昨年を振り返りますと、日本では資源価格高騰や急速な  
円安による物価上昇、海外ではウクライナ危機の長期化や  
世界的な金融引き締めによる経済活動停滞といった不安定  
な1年でした。このような経営環境の中、第7次中期経  
営計画1年目における当社グループの連結業績は、売上  
高は主軸である鍵盤楽器販売が世界各地で好調に推移した  
ことにより伸長しましたが、営業利益が為替環境の変化や  
材料費の高騰などの影響を受け、増収減益となりました。

この4月からは創立100周年を見据えての3ヵ年計画  
の2年目が始まっています。長期ビジョンとして『100  
年ブランドの確立』を掲げ、100年、そしてさらにその先  
の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一  
を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度  
の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブラン  
ド力の向上と持続的な成長を図ってまいります。

### ■ 国際コンクールでの活躍

昨年6月に開催された第8回仙台国際音楽コンクールの  
ピアノ部門で、ファイナリストすべての方に当社のフルコン  
サートピアノSK-EXを選択していただき、1位から3位を  
SK-EXが独占したことは大変喜ばしく私の心に残る出来事  
でした。予選からファイナルまで一貫して当社のピアノを演奏  
された方を含め、出場されたコンテストの皆様には感謝  
いたします。また、今年2月の第5回高松国際ピアノコンク

ールにおいては、SK-EXを選択していただいた3の方が2位、  
3位、4位に入賞いたしました。私も現地に出向き素晴らしい  
演奏を聴くことができ、ピアノは確実に進化し続けている  
と改めて確信いたしました。

そして今年の7月末には、新型コロナウイルス感染症等  
の影響で開催を延期しておりました、当社主催の第4回  
Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールが開催されます。本コ  
ンクールを通して、次世代を担う若手ピアニストの発掘・育  
成、国際交流の推進を図り、世界の音楽文化の振興と発展  
に寄与したいと考えます。

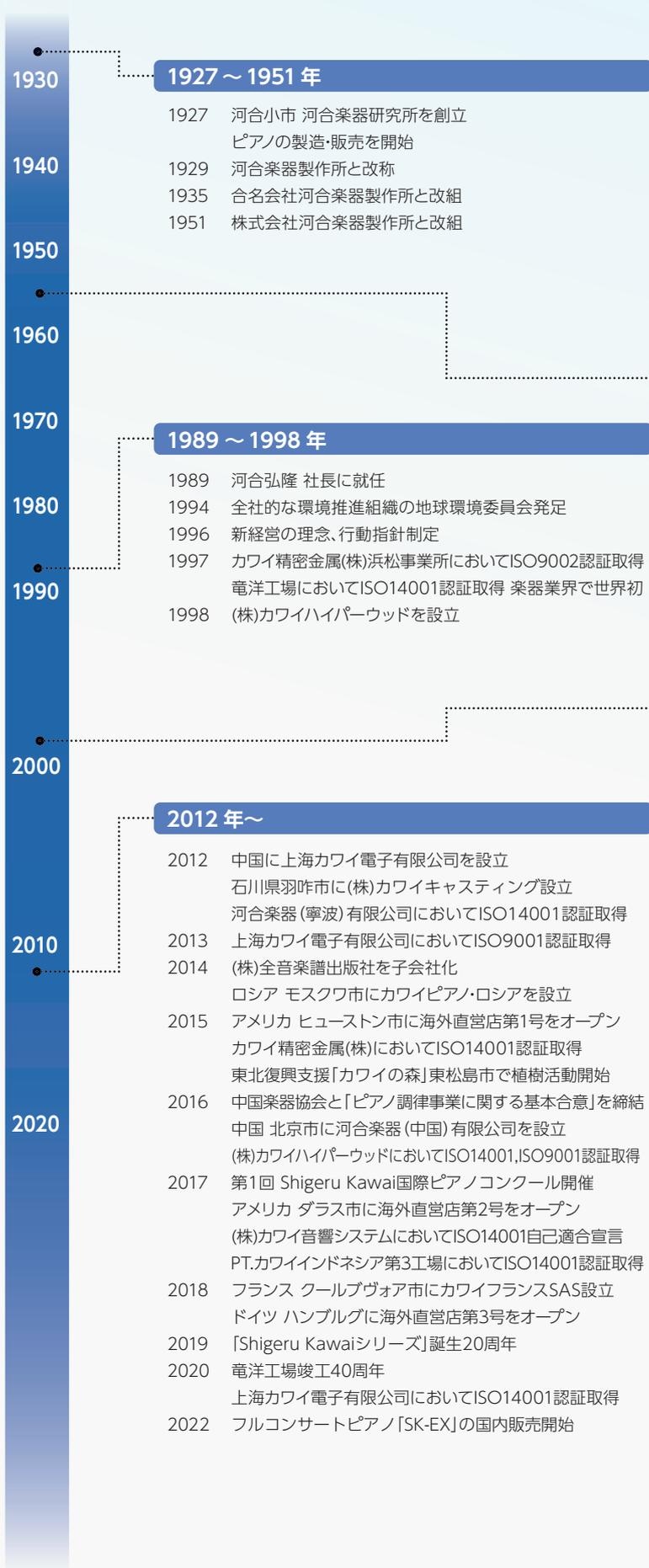
### ■ サステナビリティへの取り組み

ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みは、社会の  
課題を解決することによって企業価値の向上に繋がるものと  
考えております。当社はサステナビリティ方針に基づき、グ  
ループ全体のサステナビリティ活動を推進することを目的と  
して、サステナビリティ委員会を設置いたしました。今後は、  
環境面におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減、ダイバーシティへの取  
組みの一環として女性管理職比率の向上、コーポレート・  
ガバナンスの充実など種々の課題についての取り組みを推進  
してまいります。

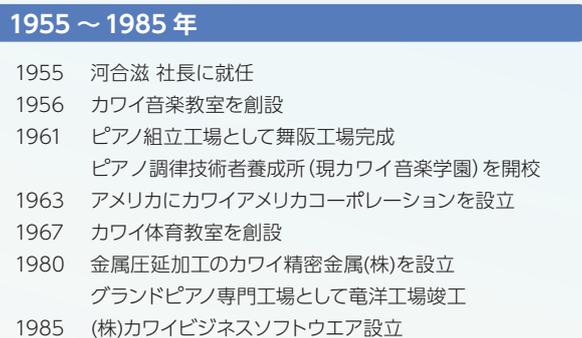
年々深刻さを増す地球温暖化は、気候の影響を受けやす  
い木材を扱う当社にとって大きなリスクとなります。当社は  
TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に基づ  
く、情報を開示しております。気候変動が当社の事業活動  
に及ぼす影響を分析・評価した上で、脱炭素社会への移行  
や地球温暖化に伴う物理的な影響を回避するために、今後  
は目標を設定して気候変動対策に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# カワイグループのあゆみ



1927年 河合小市は河合楽器研究所を創立



1955年 河合滋は小市の想いを受け継ぎ社長に就任

# 第7次中期経営計画「Resonate 2024」の概要

## 長期ビジョン

### 100年ブランドの確立

100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ります。

## 第7次中期経営計画「Resonate 2024」(2022年度～2024年度)



※ 2019年の前中期経営計画の時点では、2022年4月からの3年間は「成長の加速」と位置づけていましたが、巣ごもり需要等の影響を受けて当初計画よりも大幅に前倒しで収益が増大したことや、巣ごもり需要後の鍵盤楽器需要の不透明さ、サプライチェーンの混乱なども踏まえ、第7次中期経営計画の位置づけを「新たな事業環境での堅実な成長」に変更いたしました

## 基本方針

100年ブランドの構築に向け、新たな事業環境に適合しながら堅実に成長し、100周年に向けた盤石の体制を構築いたします。そして、100周年の「その先」を見据え、KAWAIが実現したい未来を描きます。

## 重点戦略

### 顧客接点の進化

顧客購買行動の変化に適したプロモーション政策を強化し、リアル施策とデジタル施策を融合させて「より多くのターゲット顧客」に対して、製品・サービスの価値を「より分かりやすく」伝えていきます。

### 需要拡大領域の強化

ライフスタイルの変化により、ハイブリッド製品、デジタルピアノに対する需要が増加しており、こうしたニーズに応えるラインナップの拡充と生産体制の増強に取り組めます。

### コスト増への対応

半導体などの材料費や海外輸送費の高騰によるコスト上昇に対応する為に、生産性の向上と販売価格の適正化を進めます。

## 基本戦略（楽器教育事業）

### ■ ブランド力の強化

- 「100年ブランド」構築に向けた KAWAI ブランドの更なる強化

### ■ 販売力の強化

- 楽器製造販売 各市場における高付加価値化とシェアアップの追求
- 音楽教育 音楽文化の振興と普及によるブランドの発信と鍵盤楽器の需要創造

### ■ 製品・サービス力の強化

- ピアノメーカーならではの技術を生かした「顧客満足度」の絶え間ない探求

### ■ 生産力の強化

- グローバル生産体制における QCDF ※の強化  
(良い製品を、効率的に生産し、適時に、安定的に供給する)  
※ Quality, Cost, Delivery, Flexibility

### ■ 組織力の強化

- 機能面から組織を見直し、企業拡大のために必要な組織体制の構築と人員配置の実施



## 基本戦略（素材加工事業）

### ■ 金属事業

- 車載向け新規品の受注拡大と増産体制の構築
- 既存品の横展開と新規品の受注
- 生産性向上のための設備投資の加速

### ■ 音響事業

- 個人用途の拡大と法人市場の開拓
- 快適な音響空間の追求による新商品開発
- 増販に対応する為の生産体制の確立

## 連結業績指標

[単位：百万円]

|                   | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 ※1 | 営業利益率 | ROE    |
|-------------------|--------|-------|-------|----------|-------|--------|
| 2023年3月期<br>実績    | 87,771 | 5,045 | 5,639 | 3,672    | 5.7%  | 10.3%  |
| 2025年3月期<br>計画 ※2 | 90,000 | 6,800 | 6,800 | 4,400    | 7.6%  | 10% 以上 |

※1 親会社株主に帰属する当期純利益です

※2 2022年3月時点の計画値です(前提となる為替レート：US\$115円、ユーロ125円、元18円)

## 株主還元

当社は、各事業年度の業績とともに今後の経営環境並びに事業展開を考慮し、経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、連結業績の内容に応じて、株主各位への安定的な配当を目的とした株主還元を行うことを基本方針としております。

### 【将来の見通しに関する注意事項】

本ページ記載の内容には2022年3月25日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、技術革新、為替の変動等の不確定要因により、実際の施策、業績が記載と異なる可能性があります。

# サステナビリティ方針

経営の理念「創造性豊かな好感度企業をめざして…」の実現に向け、  
より良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的とした企業活動を通じて、  
地球環境・社会との調和、さらには経営の健全性を確保することにより  
企業としての持続的な発展に努めるとともに、  
お客さまをはじめとした全てのステークホルダーの皆様と協働して  
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## Environment

各事業分野でグローバルな視野に立って地球環境と資源を守るとともに、  
真に豊かな心と社会の実現に尽くしてまいります。

## Social

音楽を通じて感動と満足をお届けする「感動製造業」として、  
豊かでうるおいのある社会の実現を目指し、  
全てのステークホルダーの皆様との良好な関係を構築してまいります。

## Governance

持続的な企業価値の向上を実現するため、  
法令やその他のルールを遵守し、  
健全かつ透明性の高い経営の実践に取り組んでまいります。

カワイグループは、サステナビリティ方針を定め、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

### SDGs に対する取り組み

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、このアジェンダに記載された持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)は、17の目標と169のターゲットで構成され、2030年までに達成すべき目標として掲げられています。

本誌では、関連する取り組みを記載したページに、該当するSDGsアイコンを付与しています。

カワイでは事業活動を通じ、関連する目標はもとより全ての目標達成に向け、更に対応を進めてまいります。



# 環境・社会への取り組み

サステナビリティを巡る課題に対し、  
環境・社会に関する取り組みを重点的に行い、  
企業としての持続的な成長を図ってまいります。

## 地球環境への取り組み

### ■ 国内外での植林活動

- ・ インドネシアにて苗木を植林 (2007～総植林木数 80 万本 ※ 2023 年 3 月現在)
- ・ 東北地方にて海岸防災林再生支援のため植樹 / 保育を実施 (2015 ～)

### ■ 環境負荷低減

- ・ 地球温暖化防止 (CO<sub>2</sub> 排出量削減)
- ・ 資源有効活用 (廃棄物削減)



## ダイバーシティ推進

- ・ 女性活躍推進活動 (Love it!) を中心に、ワークライフバランスを実現するための取り組みを実施
- ・ 中核人材の多様性確保に向け、基本方針と数値目標を設定



|         | 数値目標  |
|---------|-------|
| 女性管理職比率 | 12.5% |
| 女性監督職比率 | 20.0% |
| 外国人従業員数 | 15 名  |
| 中途採用者数  | 50 名  |

※達成時期：2025 年 3 月末

## 音楽文化振興

- ・ 1971 ～多彩な演奏家を招き、日本全国各地で 2,000 回を超える「カワイコンサート」を開催
- ・ 2017 ～次世代を担うピアニスト育成のため、Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールを開催



# 取り組みのポリシーと関連するSDGs

| 分類               | 指標           | 2022 年度実績  |  |
|------------------|--------------|--|--|
| E<br>Environment | 環境負荷低減       | <ul style="list-style-type: none"> <li>● CO<sub>2</sub> 排出量</li> <li>● CO<sub>2</sub> 排出量原単位</li> <li>● エネルギー量原単位</li> <li>● 廃棄物排出量原単位</li> <li>● 環境マネジメントシステム導入</li> <li>● 再生可能エネルギー導入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 26,453t-CO<sub>2</sub></li> <li>○ 2021 年比 -8.2%(234.2kg -CO<sub>2</sub> / 百万円)</li> <li>○ 2021 年比 -8.8%(4,477.4MJ/ 百万円)</li> <li>○ 2021 年比 1.7%(23.8kg/ 百万円)</li> <li>○ 10 事業所 (国内5、海外5)</li> <li>○ 太陽光発電設備の導入</li> </ul> |
|                  | 資源循環         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 再資源化率</li> <li>● 下取りピアノ再利用率</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 90%</li> <li>○ 100%</li> </ul>  |
|                  | 植林・植樹        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 植林本数</li> <li>● 植林面積</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 累計 80 万本</li> <li>○ 累計 750ha</li> </ul>   |
|                  | 気候変動         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報開示</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ TCFD 提言に基づく情報開示</li> </ul>  |
| S<br>Social      | 文化貢献         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 音楽団体の支援</li> <li>● コンサートの開催</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本ショパン協会、クワイター記念会、日本シマノフスキ協会の支援</li> <li>○ KAWAI PREMIUM CONCERT 開催</li> </ul>  |
|                  | 教育・育成        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 発表会・コンクールの実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カワイ音楽コンクール、海外でのオンラインコンクール、カワイカップ全国新体操競技会、カワイカップ器械体操競技会、カワイカップ全国サッカー大会の実施</li> </ul>   |
|                  | 人財育成         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新入社員研修、年次別研修、新任監督者研修、新任管理者研修</li> </ul>   |
|                  | ダイバーシティ      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 女性管理職比率 / 女性監督職比率</li> <li>● 外国人従業員数</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理職：6.7% / 監督職：14.2%</li> <li>○ 12 名</li> </ul>   |
|                  | ワークライフバランス   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 育児休業取得率</li> <li>● 配偶者出産休暇取得率</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 女性：100% / 男性：39%</li> <li>○ 53%</li> </ul>  |
|                  | 健康経営         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康づくり活動の実施</li> <li>● 外部からの健康経営評価</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身体機能測定会の実施</li> <li>○ 健康経営優良法人 2023</li> </ul>  |
|                  | 社会貢献         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会貢献活動への参加・支援</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 清掃活動への参加、工場見学の実施、浜松科学館の常設展示への協力</li> </ul>  |
|                  | 品質・顧客満足      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質会議の実施</li> <li>● 品質マネジメントシステム導入</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月開催</li> <li>○ 9 事業所 (国内4、海外5)</li> </ul>  |
| G<br>Governance  | コーポレート・ガバナンス | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社外取締役数 / 社外監査役数</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取締役：2 名 / 監査役：2 名</li> </ul>  |
|                  | リスクマネジメント    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● リスクマネジメント委員会の開催</li> <li>● 安否確認訓練の実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に開催</li> <li>○ 定期的に実施</li> </ul>   |
|                  | コンプライアンス     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンプライアンス教育の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業倫理月間における啓発活動、企業倫理ニュース毎月発行、研修の実施</li> </ul>  |

| ポリシー / 取り組み   | 関連する SDGs   | 掲載ページ  |             |
|---|---|--------|-------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●地球環境憲章に基づいて環境保全活動を展開しています</li> <li>○地球環境憲章の制定 ○地球環境委員会の設置</li> </ul>                        | 12   | 11-14  | E           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境管理レベルの向上に取り組んでいます</li> <li>○環境方針の制定 ○環境マネジメントシステムの導入</li> </ul>                           | 12   |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●より環境負荷の少ない原材料・資源の調達を推進しています</li> <li>○グリーン調達ガイドラインの制定 ○木材調達ガイドラインの制定</li> </ul>             | 12  15    |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●環境負荷低減の取り組みを推進しています</li> <li>○温室効果ガス排出量算定 ○省エネ法対応 ○地球温暖化防止</li> </ul>                       | 7  12  13  |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●資源循環の取り組みを推進しています</li> <li>○産業廃棄物排出量の削減 ○廃棄物の再資源化 ○下取りピアノの再生</li> </ul>                     | 7  12  13  | 15     | Environment |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●植林・植樹活動に取り組んでいます</li> <li>○インドネシアの植林活動 ○被災地の海岸防災林再生・保育 ○竜洋工場緑化推進</li> </ul>                 | 14  15    | 16     |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●気候変動への対応を進めています</li> <li>○サステナビリティ委員会の設置 ○気候変動リスク・機会のシナリオ分析</li> </ul>                      | 7  13   | 17, 18 |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●次世代を担うピアニストを支援・育成しています</li> <li>○第8回仙台国際音楽コンクール ○第4回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール</li> </ul>    | 4  17   | 19, 20 | S           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽文化の振興に貢献しています</li> <li>○KAWAI PREMIUM CONCERT の開催 ○各種音楽団体への支援</li> </ul>                  | 4  17   |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●教育活動を通じて個性を育み、より豊かな人格形成を目指します</li> <li>○カワイ音楽教室 ○カワイ音楽コンクール</li> </ul>                      | 4   |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●海外での音楽文化の普及に取り組んでいます</li> <li>○海外での音楽教育の普及 ○KAWAI MUSIC SCHOOL PIANO COMPETITION</li> </ul> | 4  17   | 21-23  |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまなステージで、健康づくりを総合的にサポートします</li> <li>○体育、スポーツ教室 ○スポーツコミュニティ</li> </ul>                     | 3  4    |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●人財を大切にしています</li> <li>○階層別研修 ○職種別研修 ○自己啓発支援</li> </ul>                                       | 5  8    | 24     |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な人財が活躍できる職場環境の整備を進めています</li> <li>○女性活躍推進 ○グローバル人財の育成 ○中途採用者の雇用 ○障がい者の雇用</li> </ul>        | 5  8    | 25     |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●仕事と生活の両立を支援しています</li> <li>○ワークライフバランスの推進 ○育児休業取得推進</li> </ul>                               | 5  8    | 26     |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●従業員と家族の健康づくりを推進しています</li> <li>○健康経営の推進 ○労働安全の推進</li> </ul>                                  | 8    | 27     |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます</li> <li>○地域活動への参加 ○地域との協働 ○工場見学の受け入れ</li> </ul>                     | 11  17    | 28     |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●安心・安全なサービスを提供します</li> <li>○品質・サービス向上の推進 ○お客様満足度向上</li> </ul>                                | 12   | 29     | Social      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●健全な企業経営体制を構築しています</li> <li>○コーポレート・ガバナンス基本方針制定 ○内部統制システムの構築に関する基本方針の制定</li> </ul>           | 16   | 30-32  | G           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●経営の透明性と公平性の確保に努めています</li> <li>○コーポレート・ガバナンス体制の整備 ○コーポレート・ガバナンス委員会の設置</li> </ul>             | 16   |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●取締役会の実効性向上に取り組んでいます</li> <li>○取締役の専門性・多様性の確保 ○取締役会の実効性評価の実施</li> </ul>                      | 16   |        |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●リスク管理レベルの強化に取り組んでいます</li> <li>○リスクマネジメント委員会の設置 ○BCP(事業継続計画)の策定</li> </ul>                   | 12  16    | 33     | Governance  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業倫理の確立と法令順守に努めています</li> <li>○企業倫理委員会の設置 ○企業倫理ホットラインの設置 ○コンプライアンス教育の実施</li> </ul>           | 16   | 34     |             |

環境負荷低減

# 地球環境憲章に基づいて 環境保全活動を展開しています



## 地球環境憲章

カワイグループは、すばらしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

## 地球と人にやさしい企業をめざして

### ■ 基本理念

『感動製造業』をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を  
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を  
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

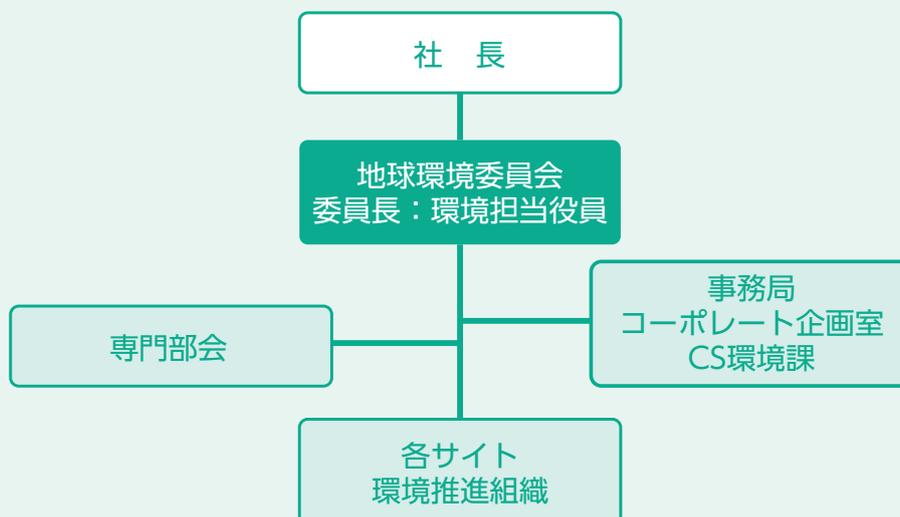
### ■ 行動指針

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

## 環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。

また、専門部会を隔月で開催し、各サイトにおける環境目標に対する経過報告や、取り組みの情報交換を実施しています。



# 環境管理レベルの向上に取り組んでいます

## 環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。  
《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

1. 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
  - 1) 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
  - 2) 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
2. 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
3. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
4. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
5. この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

## 環境マネジメントシステム

カワイグループでは環境マネジメントシステム ISO14001 の導入を推進しています。現在、国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属(株)が認証を取得し、(株)カワイ音響システムは、自己適合宣言を行っています。海外では PT. カワイインドネシア第1・第2・第3工場、上海カワイ電子有限公司、河合楽器(寧波)有限公司が認証を取得しています。

これらの事業所では環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため定期的に内部監査を実施し、進行状況や是正事項の確認を行っています。

また、認証取得事業所では、外部の認証機関による毎年のサーベランス審査及び定期の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

今後も、より一層の環境負荷削減のため、グループ全体への環境マネジメントシステムの導入に取り組んでまいります。



環境マネジメントシステム導入拠点一覧

| 導入年   | 導入拠点  |
|-------|---|
| 1997年 | 竜洋工場 (ISO14001 認証取得)  |
| 2011年 | PT. カワイインドネシア第1・第2工場 (ISO14001 認証取得)                                |
| 2012年 | 河合楽器(寧波)有限公司 (ISO14001 認証取得)  |
| 2015年 | カワイ精密金属(株) (ISO14001 認証取得)  |
| 2016年 | (株)カワイハイパーウッド (ISO14001 認証取得)                                       |
| 2017年 | (株)カワイ音響システム (ISO14001 自己適合宣言)<br>PT. カワイインドネシア第3工場 (ISO14001 認証取得) |
| 2020年 | 上海カワイ電子有限公司 (ISO14001 認証取得)   |

環境負荷低減

# より環境負荷の少ない 原材料・資源の調達を推進しています



## グリーン調達ガイドライン

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入するグリーン調達にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク (GPN) の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減することで、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

### ■ 基本方針

1. 調達の必要性を十分に考慮し、
2. 品質や価格に加え環境に配慮し環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、
3. 環境負荷の低減に努める事業者から優先的に調達する。

### ■ 適用範囲

- 事務用品、部品、原材料、設備などカワイグループが調達する全ての物品・サービス。
- ・ 事務所等で使用する一般品 (用紙、文具、コンピュータ等機器類、作業着、印刷物等)
  - ・ カワイ製品 (OEM 含む) に用いる部品・原材料 (梱包材、付属品等を含む)
  - ・ サービス等 (通信、その他の役務)

調達基準として、法律、関連団体の基準、社内基準を遵守することはもちろん、天然資源への配慮から省資源、省エネルギー、処分やリサイクルまであらゆる段階での環境配慮がされていることが規定されています。

サプライヤー選定時にも環境に対する管理状況や省資源・省エネルギーへの取り組み、環境情報の公開状況などの配慮事項を定めて、購買部門よりお取引先様に対応をお願いしています。

▶カワイ グリーン調達ガイドライン

[https://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg\\_20040130.pdf](https://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg_20040130.pdf)



## 木材調達ガイドライン

ピアノ等楽器の製造において木材は重要な原材料であることを認識しています。持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

### ■ 基本理念

カワイは、木を大切に、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

### ■ 基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や遵法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物等を優先して調達する。

# 環境負荷低減の取り組みを推進しています

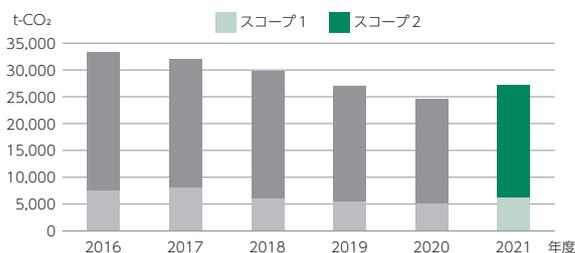


## GHG プロトコルに基づく温室効果ガス排出量算定

カワイでは、従来より国内および海外の CO<sub>2</sub> 排出量の数値を算定・公表してきました。

本年度より GHG プロトコルに基づくスコープ別温室効果ガス排出量 (GHG 排出量) の把握も行っています。これに伴い過去の排出量についても同様の方法で改めて算定しています。

算定範囲は、国内事業所および海外生産系事業所であり、グループ全体の総排出量の 95% 以上をカバーしています。



## 省エネ法への対応と環境負荷低減の取り組み

省エネ法 (エネルギー使用の合理化等に関する法律) は、一定以上のエネルギーを使用している会社 (特定事業者) にエネルギー使用の合理化を求めています。

カワイグループでは (株) 河合楽器製作所、カワイ精密金属 (株)、(株) カワイキャストが特定事業者に、竜洋工場、カワイ精密金属 (株) 本社・浜松工場、(株) カワイキャストの 3 工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

2022 年度は、(株) 河合楽器製作所が 7 年連続、カワイ精密金属 (株) は 3 年連続で、省エネ法の事業者クラス分け評価制度にもとづく優良事業者の S クラス\* の評価を受けています。

また、地球環境委員会では、「省エネ法への対応」「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」を目的とし、国内の CO<sub>2</sub> 排出量と廃棄物排出量について売上高原単位の削減に取り組んできました。2022 年度からの 3 ヶ年は、2021 年度を基準年として毎年 1% 削減することを目標値と定め取り組んでいます。

2022 年度の実績は、CO<sub>2</sub> 排出量原単位が 2021 年度比 8.2% 減少となり目標を達成、廃棄物排出量原単位は生産量増加に伴い 1.7% の増加となり目標未達となりました。

\* エネルギー消費の 5 年間平均原単位を年 1% 以上削減する努力目標を達成した事業者

| 指標   | 年度 | 2018    | 2019    | 2020    | 2021 (基準年) | 2022    | 増減     | 評価 |
|--|----|---------|---------|---------|------------|---------|--------|----|
|  |    |         |         |         |            |         |        |    |
| CO <sub>2</sub> 排出量原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /百万円) |    | 331.1   | 305.7   | 294.6   | 255.2      | 234.2   | - 8.2% | ◎  |
| 廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)                               |    | 28.4    | 26.2    | 25.0    | 23.4       | 23.8    | 1.7%   | ×  |
| エネルギー量原単位 (MJ/百万円) *参考値                          |    | 5,890.9 | 5,654.6 | 5,635.7 | 4,907.3    | 4,477.4 | - 8.8% | -  |

評価 ◎: 達成 ×: 未達成

## 地球温暖化防止の取り組み

カワイグループでは地球温暖化防止の取り組みを環境経営の重点項目と位置づけ、省エネルギー施策を実施することによって、エネルギー使用による CO<sub>2</sub> 排出量の削減を推進しています。

- 省エネルギーに配慮した工場設備の導入
- LED 照明への更新
- 再生可能エネルギーの導入
- 電力会社と共同の定期的な省エネ診断の実施
- オフィスでの「クールビズ」「ウォームビズ」運動の実施

### 太陽光発電設備の導入

2022 年 12 月より、グランドピアノ・アップライトピアノの製造工場である竜洋工場に太陽光発電設備を導入しました。

導入した太陽光発電設備の稼働による年間発電量は約 781MWh で、竜洋工場の消費電力の約 18% がまかなわれます。これにより、CO<sub>2</sub> 排出量は年間約 245t 削減される見込みです。



太陽光発電設備を導入した竜洋工場

▶ 当社の竜洋工場に太陽光発電設備を導入 (ニュースリリース)  
<https://www.kawai.co.jp/news/20221223/>



## 資源循環

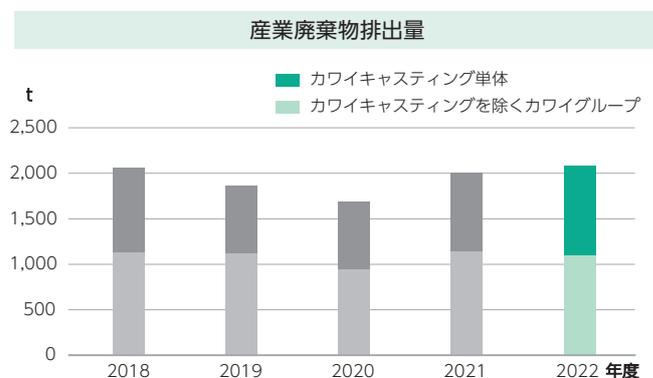
## 資源循環の取り組みを推進しています



## 産業廃棄物排出量の削減

カワイグループ（国内）の産業廃棄物排出量は、2012年度にピアノフレーム製造の(株)カワイキャストがグループの一員となり、鋳物製造時に生じる大量の鋳さいが廃棄物として排出されたため、3,203tにまで増加しました。その後、生産ラインの合理化や生産効率の改善に取り組み廃棄物排出量の削減に努めてまいりました。

2022年度の国内全体の産業廃棄物排出量は、生産量増加に伴い2,088tと前年度（基準年）からは4.3%増加していますが、2012年度比では34.8%の削減となりました。

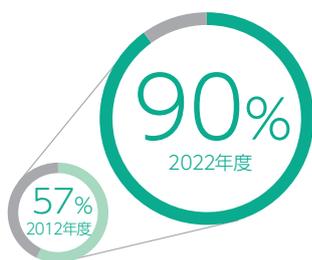


## 再資源化の取り組み

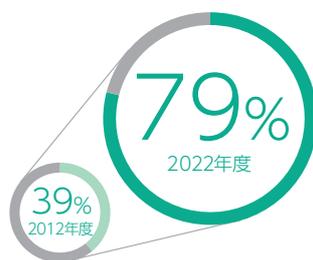
2012年度の(株)カワイキャストの再資源化率は39%でしたが、鋳さいの路盤材などへの活用を進めたことにより、2022年度には79%に改善しています。これに伴い、国内全体の再資源化率は2012年度57%から2022年度90%まで向上しています。

カワイグループ全体で産業廃棄物の排出量が最も多い竜洋工場では、産業廃棄物の木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に、フェルト屑を堆肥等に、塗装廃棄物を無害な石に固め活用する等により、再資源化率100%を達成しています。

## カワイグループ再資源化率



## カワイキャスト再資源化率



## 竜洋工場再資源化率

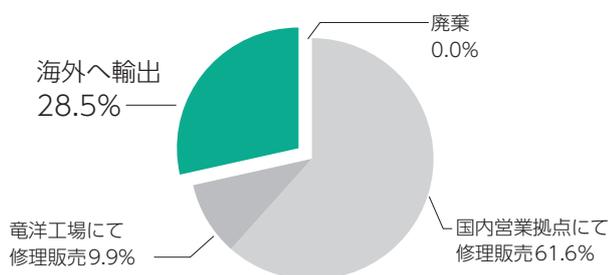


## リサイクル・リユースの取り組み

循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、ピアノの再生とリユースを推進しています。現在、国内統括部の中古ピアノ担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2022年度は国内で約700台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、28.5%が輸出され、世界の各地で使われています。

## 下取りしたピアノの再生・リユース（2022年度）



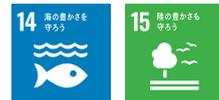
## メーカーによるピアノの修理・再生

メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者により、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。



再生は、ピアノの製造部門で長年の経験を持ち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイ製ピアノについては純正パーツによる修理再生も可能で、大きな魅力となっています。

# 植林・植樹活動に取り組んでいます



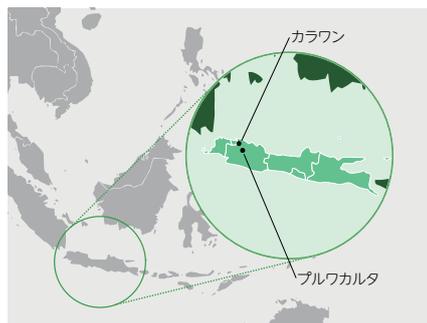
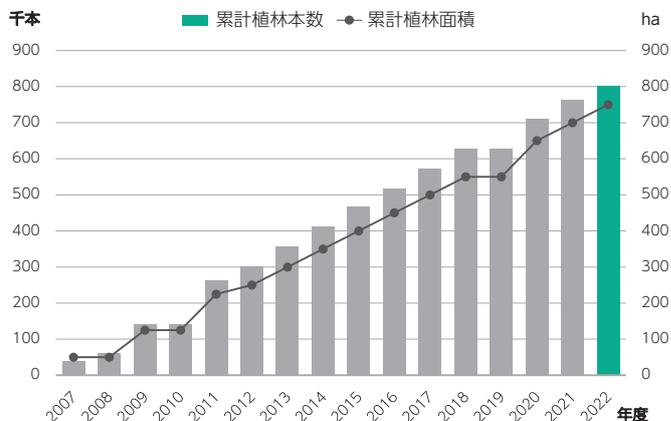
## インドネシアの「カワイの森」植林活動

ピアノには多くの木材が使用されています。それらの木材を扱うカワイは創立 80 周年記念事業として 2007 年にカワイグループ社員の有志により、カワイの森育成会（河合弘隆会長）を設立しました。

カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO<sub>2</sub> の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生することや持続可能な木材資源の確保を目指して、PT. カワイインドネシアとインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいてファルカタ、チーク、マホガニー等の植林活動を行っています。2017 年度からは水産養殖等の目的で急速に破壊されたマングローブ林の再生活動にも取り組みをはじめました。

これらの活動はカラワン県やインドネシア西ジャワ州からも評価され、2018 年から連続して CSR に関する表彰を受けています。

2022 年度はカラワン県およびブルワカルタ県にて植林を行い、累計植林面積は約 750ha、累計植林本数は約 80 万本になりました。ほとんどの樹木が順調に成長しており、このまま育成が進むとすると「カワイの森」により年間 11,500t 程度の CO<sub>2</sub> の吸収効果がうまれ、カワイグループ全体の CO<sub>2</sub> 排出量の 40% 程度を吸収していくものと試算しています。



インドネシア「カワイの森」植林地



カラワンでの植林の様子



西ジャワ州からの表彰状

## 被災地の海岸防災林再生支援

2015 年から 2019 年にかけて『みどりのきずな』再生プロジェクトに参加し、東北地方での植樹を実施してきました。

2015 年に植樹した宮城県東松島市矢本のクロマツは順調に生育しており、2022 年 11 月には石巻地区森林組合の協力を得て除草を実施しました。

今後も木々の成長具合を確認し海岸防災林の再生・保育に努めていきます。



## 「森の中の緑の工房」 竜洋工場

竜洋工場は、2020 年に竣工 40 周年を迎えました。

1997 年にはピアノ業界で初となる ISO14001 を取得し、工場の環境方針には建設当初から推進している工場緑化を掲げています。現在では工場敷地の約 50% が緑地化されています。工場の従業員によって植樹された約 3 万本の木々は長い歳月を経て成長し、「森の中の緑の工房」の名に相応しい緑豊かな工場となりました。



気候変動

# 気候変動への対応を進めています



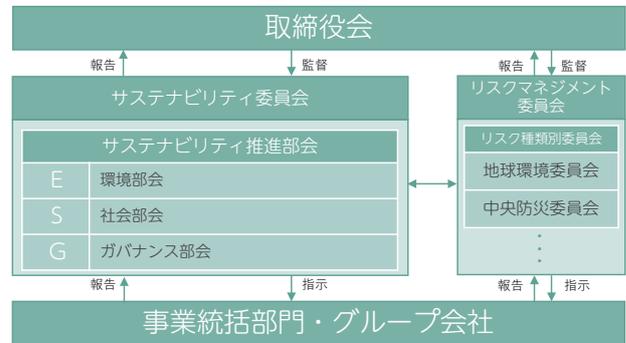
## TCFD\* 提言に基づく情報開示

私たちカワイグループは、経営理念「創造性豊かな好感度企業をめざして…」の実現に向け、地球環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に向けて、取り組みを積極的に推進しております。環境分野での取り組みの中でも、気候変動や生物多様性の損失など地球を取り巻く環境問題は年々深刻になり、企業の果たす役割もより重要視されてきていることを認識しており、TCFD フレームワークを活用した気候変動リスク及び機会の特定及び対応策の策定と経営戦略への統合が、当社グループの持続的成長と企業価値向上に資するものと考え、TCFD ガイドラインに即した情報開示を進めております。今後は TCFD フレームワークに基づいて情報開示を進めると共に、CO<sub>2</sub> 排出量や廃棄物量の削減、植林活動を通じて気候変動を緩和し、2050 年のカーボンニュートラルの達成を目指して貢献に努めてまいります。

\*TCFD は「Task Force on Climate-related Financial Disclosures (気候関連財務情報開示タスクフォース)」の略で、気候関連の情報開示及び気候変動への金融機関の対応を検討するため、FSB (金融安定理事会) により設立されました

### ガバナンス

カワイグループでは経営課題の一つにサステナビリティを定め、気候変動を含む持続可能な経営に関わる諸課題(サステナビリティ課題)の解決に貢献することを目指しております。サステナビリティに係る重要事項はサステナビリティ委員会にて審議を行ったうえで定期的(年に1回以上)に取締役会に報告を行うこととしています。取締役会はカワイグループのサステナビリティ課題への対応方針および実行計画などについての議論を行い、指示・監督を行ってまいります。そのうち気候変動に関わる諸課題は、サステナビリティ委員会の下部組織の1つである環境部会が担当しており、委員会の決定に基づいた事業統括部門・グループ会社の具体的活動の設定と実行を推進することで、取締役会での意思決定が適切に組織に反映される体制を整えてまいります。



### リスク管理

カワイグループの気候変動を含むサステナビリティに関わる諸課題の管理体制及びプロセスについては、サステナビリティ委員会がその統括管理を実施することとしています。リスクの特定にあたっては各事業部からの報告をはじめ、サステナビリティに関する社会動向や外部要請を参考にサステナビリティ委員会が重要度の大きなリスクについて識別及び評価し、サステナビリティ活動に関する計画・目標を定めます。この設定した計画・目標に沿ったサステナビリティ活動を推進し、事業統括部門・グループ会社の具体的活動の指示及びモニタリングを実施することで、リスクの未然防止や影響規模の緩和を図ります。なお、これらのプロセスを経て特定されたリスクはリスクマネジメント委員会とも共有いたします。リスクマネジメント委員会ではその緊急性なども勘案しながら、短期的かつリスクの発生時対応を行う組織として必要に応じて個別に管理を行います。

### 戦略

カワイグループでは、気候変動が事業経営にどのような影響を与えるのかを検討し、重要課題への対応を経営戦略へと反映させることを目的として、シナリオ分析を通じた気候変動による影響評価を実施しています。気候変動に対する影響度及び対応策の考察・分析にあたっては、気候変動に関する政府間パネル (IPCC) や国際エネルギー機関 (IEA) が報告している各シナリオを参考に、以下のような将来世界の仮説から、2030 年及び 2050 年時点でのカワイグループへの影響についてリスクと機会について考察を実施しています。

| 4℃シナリオ   | 1.5℃シナリオ   |
|--|--|
| 産業革命期の世界平均気温と比較して 21 世紀末頃までに世界平均気温が 4℃上昇すると仮定したシナリオ。気候変動政策は 2021 年時点で施行されている規制以上に強化されず脱炭素化への移行は推進されないため、温暖化の影響が拡大し災害の規模や頻度が拡大する。 | 産業革命期の世界平均気温と比較して 21 世紀末頃の世界平均気温の上昇が 2℃未満に抑制されると仮定したシナリオ。カーボンニュートラルの実現に向けて、積極的な環境政策が推進されるために移行リスクによる影響が拡大する。 |
| (参考シナリオ)<br>IPCC : RCP8.5<br>IEA2022 : STEPS   | (参考シナリオ)<br>IPCC : RCP2.6<br>IEA2022 : APS / NZE2050   |

4℃シナリオでは、異常気象の激甚化から自社施設の直接的な被害の増加や、サプライヤーの被災によるサプライチェーンの寸断、また当社製品の重要な資源である木材資源の減少を想定しております。その他、継続的な化石燃料の需要拡大などを背景に、石油由来原材料の価格高騰から輸送コストの増加も懸念され、主にサプライチェーンの上流側に関わる支出増加や損失の拡大が懸念されます。一方で、平均気温上昇による巣ごもり需要の増加は、室内で楽しめる楽器製品への需要を後押しする要因の1つとなる可能性も認識しています。

1.5℃シナリオでは、脱炭素化に向けたカーボンプライシング導入による影響、再生可能エネルギー由来電力への切り替えに伴い、事業運営コストの増加が財務的にも影響を及ぼす可能性を想定しています。また、このような影響は当社のサプライヤーにも同様に求められることを想定しており、金属系素材をはじめ製品原材料の価格高騰も懸念されます。一方、環境負荷の少ない製品開発を通して、エシカル思考の高まった顧客の購買意欲を掻き立てる機会になると想定しており、製品の環境性能の向上が社会貢献と事業機会獲得の両軸で資するものと捉えています。

| 項目             | 2030年における影響 |  | 評価        |        | 現在の取り組み・対応方針 |   |
|----------------|-------------|--|-----------|--------|--------------|---|
|                | 要因          | 事象   | 影響種別      | 4℃シナリオ |              | 1.5℃シナリオ  |
| 脱炭素社会への移行に伴う影響 | カーボンプライシング  | ・炭素税導入による事業運営コストの増加<br>・温室効果ガス排出量削減に伴う支出の増加  | リスク       | 小      | 大            | ・CO <sub>2</sub> 排出削減目標の設定と運用<br>・製造設備における再生可能エネルギーの使用(太陽光パネル)      |
|                | 電力価格の変化     | ・再生可能エネルギー由来発電への切り替え等による電力価格の増加<br>・化石燃料需要の変化に伴う輸送コストの増加                                       | リスク       | 中      | 中            | ・電力会社による定期的な省エネ診断の実施<br>・LED照明への更新<br>・省エネ工場設備の導入                   |
|                | 原材料価格の変化    | ・森林資源に対する規制や行動変化による木材価格の高騰<br>・脱炭素への移行に伴う影響分の価格転嫁等による金属価格の高騰                                   | リスク       | 小      | 大            | ・カワイグリーン調達ガイドラインの策定と運用<br>・廃棄物削減及びリサイクル率の向上                         |
|                | 顧客行動の変化     | ・エシカル消費志向の拡大に伴う環境対応ニーズの拡大  | 機会        | 小      | 中            | ・地球環境憲章に基づく環境方針の策定と運用<br>・再生材使用製品の優先的調達                             |
| 地球温暖化に伴う物理的影響  | 異常気象災害の激甚化  | ・各拠点(営業所・事務所・研究所)の被災による損失の発生<br>・サプライチェーンの寸断<br>・水害、干ばつ、森林火災をはじめとした地域別リスクによる森林の被害と、木材原材料調達への影響 | リスク       | 大      | 大            | ・BCP計画の策定と強化<br>・中央防災対策委員会の設置                                       |
|                | 平均気温の上昇     | ・地域別の木材生育悪化と品質劣化<br>・野外活動制限や巣ごもり需要増加に伴う室内娯楽ニーズの拡大  | リスク<br>機会 | 大      | 中            | ・カワイの森育成会による植林活動<br>・カワイ木材調達ガイドラインの策定と運用<br>・オンライン形式も活用した海外での音楽文化普及 |

<影響度合い評価方法>

大：影響額が営業利益に対して3%以上のもの 中：影響額が3%に満たないもの 小：影響額が軽微、もしくは無いもの

※定量的な評価が困難な項目については、影響度合い評価方法で定める閾値に基づいて、参考としたパラメータや文献をもとに定性的に影響規模を分析しています

これらの分析結果を踏まえ、今後は気候変動影響に対するレジリエンス性を高めると同時に、経営の脱炭素化及びカーボンニュートラルの達成を見据え、引き続き取り組みを強化推進してまいります。なお、現在の取り組み状況としては、地球環境憲章を定め、現在も運用しているカワイグリーン調達ガイドライン、カワイ木材調達ガイドラインで定める資源の持続的な調達を目指し取り組みを推進しているほか、環境負荷低減に向けたCO<sub>2</sub>排出量や廃棄物量の削減目標の策定と進捗管理を実施しております。

## 指標と目標

カワイグループは、SDGsへの取り組みの一環としてCO<sub>2</sub>排出量の売上百万円あたりの原単位削減を経営目標の1つとして設定しており、当社グループの気候変動対応の取り組み状況の評価指標として引き続きその進捗を追っています。過去の取り組み事例としては2018年度を基準年として毎年売上原単位あたりの排出量1%削減することを2019年度～2021年度の3ヶ年計画の目標値と定め運用してまいりました。省エネルギーに配慮した工場設備の導入、LED照明への更新、再生可能エネルギーの使用検討、クールビズ・ウォームビズ推進の結果、2021年度は2018年度比15.8%の減少となり目標を達成しています。今後は、2050年のカーボンニュートラル達成を見据え、中長期的な目標を設定し開示する予定です。なお、CO<sub>2</sub>排出量実績については、表の通りです。

| 集計範囲     | 排出量実績 (t-CO <sub>2</sub> ) |          |
|----------|----------------------------|----------|
|          | 2021年度                     |          |
| Scope1   | 6,131.4                    |          |
| 内訳       | 国内拠点                       | 5,688.3  |
|          | 海外拠点                       | 443.1    |
| Scope2   | 22,623.4                   |          |
| 内訳       | 国内拠点                       | 16,442.6 |
|          | 海外拠点                       | 6,180.9  |
| Scope1+2 | 28,754.8                   |          |

文化貢献

## 次世代を担うピアニストを支援・育成しています



### 第 8 回仙台国際音楽コンクール

2022年6月11日(土)から6月26日(日)に宮城県仙台市で開催された「第8回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門」において、予選からファイナルまで一貫してカワイフルコンサートピアノ「SK-EX」を使用したルウォ・ジャチンさんが第1位、ヨナス・アウミラーさんが第2位、太田糸音さんが第3位に入賞いたしました。

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が開府四百年を記念して2001年に創設、以後3年ごとに開催されています。コンチェルト(協奏曲)を課題曲の中心に据えるという世界にも類例をみないコンクールで、当社は第1回目より公式ピアノとして参加しています。



第1位：ルウォ・ジャチンさん



第2位：ヨナス・アウミラーさん



第3位：太田糸音さん

写真提供：仙台国際音楽コンクール事務局

### 第 4 回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールは2017年の当社創立90周年を記念し、次世代を担うピアニストの発掘・育成、国際交流の推進、ならびに世界の音楽文化の振興を目的として創設されました。

2022年に開催を予定していた第4回のコンクールは、国際情勢の変化もあり、2022年2月～3月にかけて予備審査を実施した後、一時延期としておりましたが、2023年に下記日程にて開催することとなりました。

これまで新型コロナウイルス感染症拡大の影響などで多くのコンサートやコンクールが中止・延期されてきましたが、若手ピアニストたちの素晴らしい表現の場となるよう、準備を進めています。



|         |                         |                        |
|---------|-------------------------|------------------------|
| 出場順抽選会  | 2023年 7月28日(金)          |                        |
| 1次予選    | 2023年 7月29日(土)～7月31日(月) | カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」    |
| セミファイナル | 2023年 8月1日(火)・2日(水)     |                        |
| ファイナル   | 2023年 8月5日(土)           | 渋谷区文化総合センター大和田「さくらホール」 |
| 入賞者演奏会  | 2023年 8月6日(日)           | カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」    |

▶ Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール  
<https://skipc.jp/>



# 音楽文化の振興に貢献しています



## カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。これからも、「Music for All」の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供していきます。

▶カワイ音楽振興会  
<http://kawai-kma.com/>



## KAWAI PREMIUM CONCERT

2022年11月27日(日)ベルサール虎ノ門 ホールにて「カワイプレミアムコンサート in 虎ノ門 ～第8回仙台国際音楽コンクール出場者による～」を開催。「第8回仙台国際音楽コンクール・ピアノ部門」に出場したピアニスト4名を招いての演奏会となりました。

コンクールに入賞した太田糸音さんをはじめ、岩井亜咲さん、田母神夕南さん、黒崎拓海さんは、それぞれに思いのこもった選曲とカワイフルコンサートピアノ「SK-EX」の響きで会場を魅了しました。



太田糸音さん



岩井亜咲さん



田母神夕南さん



黒崎拓海さん

## 各種音楽団体への支援

### ■ 日本ショパン協会への支援

1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念してポーランドのショパン協会との交流のもとに設立。河合滋社長(当時)が名誉会長となり事務局を河合楽器製作所内に設置、ショパン国際ピアノコンクール等への支援を行っています。

▶日本ショパン協会  
<http://chopin-society-japan.com/>



### ■ クロイツァー記念会への支援

ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の門下生および関係者により1962年3月に設立。日本の音楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定、受賞者による演奏会を1976年より毎年開催しています。

▶クロイツァー記念会  
<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



### ■ 日本シマノフスキ協会への支援

1981年、カール・シマノフスキ生誕100年記念の前年に設立。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のコンサートや公開講座等も開催しています。

▶日本シマノフスキ協会  
<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>



教育・育成

# 教育活動を通じて個性を育み、 より豊かな人格形成を目指します



## カワイ音楽教室

カワイ音楽教室では、子どもたちの興味の芽を大切にし、素直に表現する感性を育てるため、音楽教室を中心にさまざまな教育活動を展開しています。

### 教育の理念

カワイ音楽教室の理念は音楽「を」学ぶのではなく、音楽「で」学ぶこと。ただ単に技術を習得して「うまく」なることだけを目的とせず、各コースの表現活動を通して個性を育み、より豊かな人格形成を目指します。

personality &amp; harmony



KAWAI MUSIC SCHOOL

カワイは音楽を通じて、一人ひとりがかけがえない個性(personality)を導きだします。そして、おたがいの個性を尊重しあう中から、他人(ひと)と心を通わせ心を共振(harmony)させる喜びを創りだします。

### カワイ音楽教室

カワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年(昭和31年)にスタートしました。全国各地に4,000余の教室があり、カワイの音楽教育実績から生み出された多彩なコースで、多くの生徒さんが音楽と親しみ、自らの可能性を拓いています。



### カワイおとなの音楽教室

高まる中高年の人々の生涯学習や余暇活動へのニーズに対応し、ピアノ、ボーカル、弦楽器、管楽器など、様々なコースを運営しています。自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講できることから、多くの受講者を集めています。



### カワイ英語教室

カワイが開発したIMA (Imagination, Music, Action) 方式のカリキュラムに沿って、豊かな人間性をもつ講師とともに歌やゲームを楽しみながら生きた英語を身につけます。また、言葉の背景にある文化についても理解を促し、真の国際人を育てます。



### カワイ絵画造形教室

画一的指導ではなく個人差やプロセスを重視しながら、子どもたちの独創性と創造力を豊かに育てています。紙や粘土、カワイ独自のピアノの木片など豊富な素材を使い、自由に創作活動に取り組むことができます。



▶カワイ音楽教室  
<https://music.kawai.jp/>



## カワイ音楽コンクール

カワイ音楽コンクールは、「技術の優劣よりも自発的な音楽表現を積極的に評価する」という理念のもと1968年にスタートしました。「カワイピアノコンクール」「カワイこどもピアノコンクール」「カワイうたのコンクール」の3種類からなる本コンクールは、半世紀以上にわたり多くのピアニストを育ててまいりました。

2022年8月には、55回目となるカワイピアノコンクール全国大会(連弾部門・ソロ部門)を開催いたしました。一昨年、昨年と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止やオンライン開催を余儀なくされましたが、感染症対策を徹底したうえで、浜松市の「アクトシティ浜松 中ホール」での開催となりました。ホールには日頃練習を積み重ねてきた未来を担うピアニストたちの音楽が響き渡りました。

ソロ部門の大賞受賞者には、国内外著名ピアニストや音楽大学教授等による特別レッスンなど様々な育成支援の機会を提供し、演奏家としてのより一層の成長をサポートしてまいります。



# 海外での音楽教育の普及に取り組んでいます



## 海外での音楽教室展開

カワイは、日本だけでなくインドネシアを中心にアジア地域でも音楽教室を展開しています。中国においては、宋慶齡基金会と連携して音楽教室を展開することで音楽教育の普及を積極的に進めています。また、講師を対象とした音楽教育セミナーや研修などを実施し現地教育者の人財育成も推進しています。

海外の音楽教室においても、通常のレッスンだけでなく、習熟度をはかるグレードテストや様々なイベントを開催しています。年齢や経験・目的に応じたコンクール、レッスンの成果披露の場としてのコンサート、入会前のレッスン体験や保護者への説明会など様々なイベントを通じて音楽教育の普及に努めています。



▶ KAWAI MUSIC SCHOOL GLOBAL (英語サイト)  
<https://music-school.kawai-global.com/>

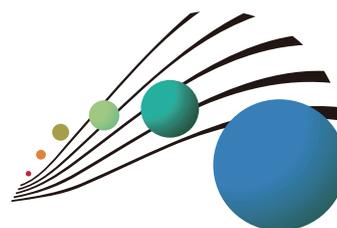


## KAWAI MUSIC SCHOOL PIANO COMPETITION

KAWAI MUSIC SCHOOL PIANO COMPETITION は、アジア地域への音楽教育の普及・浸透を目的として創設されました。

インドネシア・中国・タイ・台湾・ベトナムのカワイ音楽教室の生徒を対象としたこのコンクールは、カワイのオリジナルの教育メソッドであるサウンドツリーを基準としたソロ部門と連弾部門の9つのカテゴリーに分かれ、各地域の予選会を経て本選会へ参加する形となっています。また、審査は日本のスタッフが入り、技術だけでなく自己の表現、レッスンの成果が表れているかなどに焦点をあてて評価しています。

第1回大会本選にはインドネシア・中国・タイ・台湾から129名が参加、第2回大会本選にはベトナムからの参加者を加えた239名へと増加し、大きな拡がりを見せています。



教育・育成

# さまざまなステージで、健康づくりを総合的にサポートします



## 体育・スポーツ教室

子どもを対象とした体育コースやスポーツコースでは運動能力の発達や技術の向上はもちろん、集団でのレッスンの中で協力して目標に向かったり、互いに励ましあったりすることで社会性を養うことなど、「からだの面」、「こころの面」、「知的な面」の3つの要素を重要視した指導を行い、人間的豊かさにあふれる人の育成をサポートしています。



カワイ体育教室で重要視する3つの要素

### ■ 体育コース

2オクラス、幼児クラスなど、年少から年長のお子様を対象に各年次の発育、発達に即した運動あそびを経験することで楽しみながら運動技能を身につけるコースです。運動に関する創造性、積極性、できる喜び等を育てます。



### ■ スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。



## ■ カワイ ヘルスプロモーション サポートシステム

カワイは、体育教室をはじめとした健康づくりのサポートを全国で展開してから50年以上になります。このキャリアとノウハウを広く社会に公開・提供するののも一つの役目と考えています。

未就園児から高齢者まで、楽しみながら健康の維持・促進を図り、しかも測定データや最新機器を駆使し科学的にサポートする「カワイ ヘルスプロモーション サポートシステム」を構築し、さまざまなステージでの健康づくりをサポートしています。



## ■ スポーツコミュニティ

カワイ体育教室では、トップアスリートと触れ合う機会として「スポーツコミュニティ」を展開し、未来を担う子どもたちの健全な育成を図っています。

### ■ カワイカップ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止が続いていた「カワイカップ全国新体操競技会」が2022年8月、3年ぶりに浜松アリーナにて開催されました。新体操クラス チーフアドバイザーの川本ゆかりさんも見守る中、会場に集まったカワイ体育教室の選手たちは日頃の練習の成果を発揮してくれました。

また9月には「カワイカップ器械体操競技会」も同じく浜松アリーナにて開催され、マットととび箱の種目で競い合いました。



新体操競技会の様子



器械体操競技会の様子

## カワイ体育教室 スタッフ紹介



チーフアドバイザー  
水鳥 寿思 さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリスト。現役を引退後カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。

各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラス チーフアドバイザー  
川本 ゆかり さん

1992年バルセロナオリンピック出場。カワイ体育教室の新体操クラスのチーフアドバイザーとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。

スポーツコミュニティも担当しています。

# 人財を大切にしています



## 人財育成基本方針

カワイグループでは、「従業員一人ひとりが能力を発揮することがカワイグループとしての成長につながる」という考えのもと、人財こそが最大の資産と捉え、人財育成を時代の変化に対応できる企業となるための重要な戦略課題と位置づけています。従業員一人ひとりが能力を発揮できる仕組みや環境を整備し、企業としての持続的な成長を図ってまいります。

## 人財育成体系

基本方針のもと、従業員が自らのキャリアを創り自主的に成長していく姿勢を醸成するべく人財育成を行っています。

|     | 階層別研修   | 職種別研修 (各部門主導)   | 自己啓発支援             | 共通                     |
|-----|---|---|--------------------|------------------------|
| 経営層 | 新任取締役研修   |   |                    |                        |
| 管理層 | 新任執行役員研修  |   |                    | ダイバーシティ研修              |
|     | 次世代経営幹部候補者選抜育成                                  |   |                    | 女性のキャリアアップ研修           |
|     | 新任管理者研修   |   | 通信教育<br>eラーニング     |                        |
| 監督層 | 管理者候補研修   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業部門 (マーケティング等)</li> <li>・生産部門 (品質・多能工化等)</li> <li>・音教/体育</li> <li>・スタッフ部門</li> <li>・技術/開発</li> </ul> |                    | コンプライアンス研修             |
|     | 新任監督者研修   |   | 調律 (研究科・高等科・M.P.A) | 技能継承 (マンツールの核となる後継者育成) |
| 一般層 | 若手育成強化<br>6年次研修<br>3年次研修<br>フォローアップ研修<br>新入社員研修 |   |                    | マイライフプラン研修             |
|     | キャリア形成支援  |   |                    |                        |

### 階層別研修

各階層において求められる基礎知識の習得と役割認識を深めるため、一般層から経営層に至るまで階層別研修を行っています。特に若手従業員の育成に力を入れており、6年次までの年次別研修を行うと共に、キャリア形成支援としてジョブローテーションを実施して職域拡大を図り、企業力の強化に繋がっています。

### 職種別研修

各部門主導で職種別研修を実施し、職種に応じて従業員の専門性を深め、スキルアップするための教育を定期的に行っています。

### その他

自己啓発支援のため、通信教育に加え、eラーニングを導入しています。また、各階層に共通するものとして、多様性確保のためのダイバーシティ研修や女性のキャリアアップ研修等を実施し、企業全体として時代の変化に対応できる力を養うための教育を行っています。

ダイバーシティ

# 多様な人財が活躍できる 職場環境の整備を進めています



## ダイバーシティ基本方針

カワイグループでは、女性、外国人、様々な職歴を持つ中途採用者など、人財の多様性を確保することが企業価値の向上につながると考えております。多様な人財の採用・中核人財への登用を積極的に行い、それぞれの特性や能力が最大限発揮されるような職場環境の整備を行うことで、新たな価値を生み出す組織風土を醸成します。

ダイバーシティ推進の年度別実績と目標

|            | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2025年3月末(目標) |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 女性管理職比率(%) | 1.6    | 2.4    | 2.1    | 3.3    | 6.7    | 12.5         |
| 女性監督職比率(%) | 9.6    | 10.9   | 11.7   | 12.9   | 14.2   | 20.0         |
| 外国人従業員数(名) | 6      | 7      | 8      | 9      | 12     |              |
| 入社         | 0      | 1      | 1      | 1      | 3      | 15           |
| 在籍         | 6      | 6      | 7      | 8      | 9      |              |
| 中途採用者数(名)  | 30     | 39     | 42     | 46     | 55     |              |
| 入社         | 1      | 9      | 3      | 4      | 9      | 50           |
| 在籍         | 29     | 30     | 39     | 42     | 46     |              |

※上記目標は(株)河合楽器製作所単体のものであり、グループ会社を除く

## 女性活躍推進

カワイグループでは、2019年より女性活躍推進プロジェクト『Love it!』を立ち上げ、誰もが働きやすい職場づくりを目指してワークライフバランスを実現するために活動しています。

育児・介護と仕事の両立支援研修やイクボス研修の実施、男性の育児休業取得促進やワークライフバランスガイドブック刊行、ライフサポート休暇の新設。また、部門を横断したサポーターチームによる女性活躍推進に関する提言活動や女性管理職による座談会や研修の実施、女性活躍に関するニュースレターの定期的発行など様々な取り組みを行っています。



女性管理者研修の様子



このような活動が認められ、2021年1月には「えるぼし認定(二つ星)」を取得しています。

※えるぼし認定：女性活躍推進法に基づき女性従業員の活躍推進に関しての取り組み状況に応じた厚生労働大臣からの認定制度のこと

## グローバル人財の育成と中途採用の強化

国内拠点におけるグローバル人財の採用、育成、登用を強化しております。日本を除く世界各地に13か所の海外拠点がおり、現地採用スタッフも活躍しています。今後は、海外駐在者候補となる人財を育成するため、若手社員を中心に海外拠点への短期研修を実施し、グループ全体で基盤整備を行ってまいります。

また、近年より中途採用を積極的に実施しており、2018年度から2022年度までの5年間で中途採用者の合計が25名増加しました。監督層などの中核人財としての採用も行っており、専門的なスキルを持った即戦力のある人財が活躍しています。

## 障がい者雇用

カワイグループは、近隣の特別支援学校のご協力のもと、実習による業務の適性を考慮した障がい者雇用を継続しています。2015年度から8年連続で法定雇用率をクリアしており、2022年度の雇用率も2.51%と、法定雇用率の2.30%を上回っています。今後も企業として地域とのつながりを重視しながら、社会的責任を果たしてまいります。

# 仕事と生活の両立を支援しています



## ワークライフバランスの推進

カワイグループでは、経営の理念の中で掲げている「社員を大切にし、明るい企業をめざします」に基づき、多様な働き方をサポートする各種制度を整備し、社員が働きやすい環境づくりを進めています。

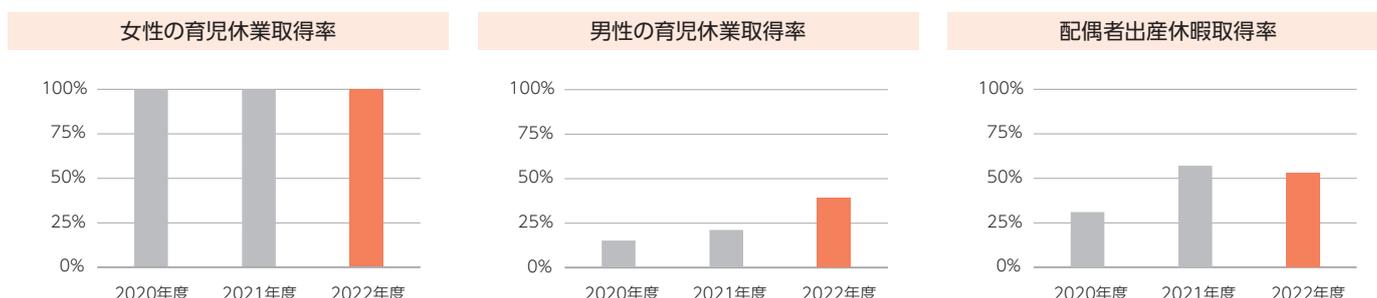
また、女性活躍推進プロジェクト「Love it!」による、仕事と生活の両立を支援する制度をライフイベント別に分かりやすく説明したワークライフバランスガイドブックの発行など、制度の拡充や周知、利用促進にも努めています。



| 仕事と生活の両立支援制度     |                   |  |
|------------------|-------------------|--|
| 制度               | 内容                |  |
| 特別休暇             | メモリアル休暇           | 1年に1日、誕生日に取得できる  |
|                  | ライフサポート休暇         | 従業員とその家族のライフイベントのために年間2日取得できる                                  |
|                  | リフレッシュ休暇          | 勤続5年ごとに連続5日間取得できる  |
| 介護サポート           | 裁判員休暇             | 裁判員または裁判員候補者として裁判所に出頭するために取得できる                                |
|                  | 介護休業              | 家族の介護のため最長1年間取得できる   |
|                  | 介護短時間勤務           | 家族の介護のため最長3年間、1日の労働時間を短縮して勤務できる                                |
|                  | 時間外勤務の免除制度 / 制限措置 | 時間外勤務の免除 / 月24時間、年間150時間を超える時間外勤務の免除措置を受けることができる               |
|                  | 深夜業の制限措置          | 午後10時から午前5時までの業務の免除措置を受けることができる                                |
|                  | 介護休暇              | 家族の介護のため1年に5日間取得できる  |
|                  | 母性健康管理のための休暇等     | 通勤の緩和、時差出勤・勤務時間の短縮、就業時間内の通院、休憩時間の延長、作業内容の軽減、勤務時間の短縮などの制度を利用できる |
| 妊娠 / 出産 / 育児サポート | 産前産後休暇            | 産前42日前から、産後56日まで取得できる  |
|                  | 配偶者出産休暇           | 配偶者の妊娠の申出から出産後1週間のうちに、最大2日間取得できる                               |
|                  | 出生時育児休業           | 子どもの出生後8週間のうちに、最大4週間取得できる                                      |
|                  | 育児休業              | 子どもが満2歳になるまで、育児のために利用できる                                       |
|                  | 育児短時間勤務           | 育児のために労働時間を短縮して勤務することができる                                      |
|                  | 時間外勤務の免除制度 / 制限措置 | 時間外勤務の免除 / 月24時間、年間150時間を超える時間外勤務の免除措置を受けることができる               |
|                  | 深夜業の制限措置          | 午後10時から午前5時までの業務の免除措置を受けることができる                                |
|                  | 子の看護休暇            | 子どもの負傷や疾病の世話、予防注射や健康診断のために取得できる                                |
|                  | 育児時間              | 休憩時間の他に1日に2回、育児のための時間をとることができる                                 |

## 育児休業取得推進

働きながらの子育てをサポートする制度として、1992年から育児休業制度を導入しています。2022年度の女性の取得率は2018年から100%を継続しています。男性の取得率については39%と昨年度の21%から大きく向上、配偶者出産休暇の取得率については昨年度の57%とほぼ同水準の53%となっています。これからも、取得率向上と働きやすい職場環境の整備に努めてまいります。



## 健康経営

## 従業員と家族の健康づくりを推進しています



## 健康経営宣言

カワイグループでは、従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に「健康経営」を推進していくため、「健康経営宣言」を制定しました。

カワイグループは、カワイで働くすべての人とその家族の心身の健康こそが、経営の理念で定める「創造性豊かな好感度企業を目指す」ための礎であり、当グループおよび社会にとっての大切な財産であると考えます。

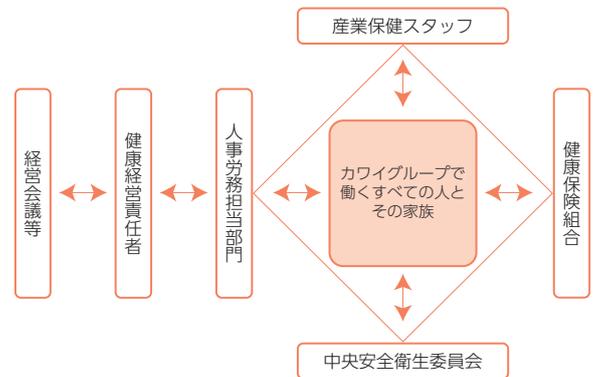
そのために、従業員一人ひとりが「音楽文化の担い手」として、持てる能力を最大限に発揮するとともに、働きがいを創造し、創業以来継続してきた音楽文化への貢献を継続・推進できるよう、会社、健康保険組合が一体となり、従業員およびその家族の健康維持・増進のための活動を積極的に支援してまいります。

そして、従業員が能力を最大限に発揮し、いきいきと活躍することで、事業活動を通じて、幅広く人々の生活文化・音楽文化に貢献していくことを宣言します。

## 健康経営推進体制

健康経営宣言のもと、人事労務部門の担当役員が「健康経営責任者」となり、健康経営を牽引するとともに、人事労務担当部門が中心となり、各事業所長・労働組合の代表者をメンバーとした中央安全衛生委員会をはじめ、産業保健スタッフ、健康保険組合とも連携し、従業員およびその家族の健康づくりを推進してまいります。

また、従業員の健康管理の実施状況について、定期的に経営会議等に報告し、全社一丸となり従業員の健康づくりを促進してまいります。



## 健康経営と労働安全の取り組み

従業員自身の健康増進や運動習慣の定着・向上、そして労災発生リスクの低減等のために当社体育事業部による転倒リスク改善プログラムを実施しています。2022年度は竜洋工場にて身体機能測定会を実施いたしました。

今後も継続して各工場での測定会を実施し、身体機能についての認識を高めるとともに労働安全に努めてまいります。

また、健康経営の推進による企業の持続的成長を果たしていくために、従業員の心身の健康をより一層増進していくことが重要であると考えています。各種指標の設定、施策の実施、評価・検証のPDCAを回し、指標を経年で把握・分析することで、従業員の健康課題の解決および健康保持・増進に取り組んでいます。

健康経営に関する各種指標の詳細については、当社 Web サイトで公開しています。

健康経営に関する各種指標の詳細については、当社 Web サイトで公開しています。



竜洋工場での身体機能測定会の様子

▶ 健康経営の推進

[https://www.kawai.co.jp/csr/health\\_mgmt/](https://www.kawai.co.jp/csr/health_mgmt/)



## 健康経営優良法人認定

当社は経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2023 (大規模法人部門)」に 2020 年から連続して認定されています。

健康経営優良法人制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



# 地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます



## 地域貢献活動

カワイグループは、地域社会の一員として、地域との交流を深めると共に、地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます。

### ■ 地域活動への参加

各事業所で様々な活動に参加し地域との交流を深めています。



遠州灘海岸の清掃活動（ウェルカメクリーン作戦）



浜名湖周辺の清掃活動（浜名湖クリーン作戦）

### ■ 地域との協働

浜松市の道路・河川里親制度に参加し、本社周辺道路の清掃活動を行っています。また、静岡県と協定を結び防災林の整備にも取り組んでいます。



本社周辺の道路の清掃活動



遠州灘防潮堤防災林の整備

### ■ 浜松科学館への協力

2022年9月13日、浜松科学館に常設展示している当社ブースをリニューアルしました。お子様が遊びながらピアノの鍵盤の動きや構造を学べる展示となっています。



浜松科学館 河合楽器ブース「ピアノアクション」

▶ 浜松科学館カワイ展示ブースリニューアル  
（ニュースリリース）  
<https://www.kawai.co.jp/news/20220907/>



### ■ 工場見学の受け入れ

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、受け入れ制限を設けて工場見学を実施しておりましたが、2023年5月より、ご予約の受付を全面再開しています。見学ではグランドピアノの組立工程をご覧くださいいただくことができます。

見学後の小学生からは嬉しい感想をいただいています。



工場見学後にいただいた感想の数々

▶ 工場のご見学に関するお問い合わせ  
 竜洋工場（ピアノ事業部 業務室） 静岡県磐田市飛平松 252  
 TEL：0538-66-5111 FAX：0538-66-5919

工場見学は当社 Web サイトからご予約いただけます  
<https://www.kawai.jp/ryuyofactory/>



品質・顧客満足

## 安心・安全なサービスを提供します



### 品質・サービス向上の推進

カワイグループでは、経営の理念のひとつである「お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します」の実現のために、法令順守はもとより、品質の継続的な改善による製品およびサービスのさらなる向上が必須と考えています。

国内外の主要な工場では品質マネジメントシステム ISO9001 を導入しており、また品質に関する不具合や異常を未然に防ぐために品質会議を毎月開催し社内の情報共有の強化と迅速な対応に努めています。

#### 品質マネジメントシステム

カワイでは、品質およびサービスの維持向上のために品質マネジメントシステム ISO9001 の導入を推進しています。品質マネジメントシステムで要求されている PCDA サイクルをまわすことで、品質・サービスの継続的な改善に取り組んでいます。

現在、国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属(株)が認証を取得し、海外では PT. カワイインドネシア第 1・第 2・第 3 工場、上海カワイ電子有限公司、河合楽器(寧波)有限公司が認証を取得しています。



品質マネジメントシステム導入拠点一覧

| 導入年   | 導入拠点  |
|-------|---|
| 1997年 | カワイ精密金属(株) 浜松事業所 (ISO9002 認証取得)                                   |
| 2003年 | カワイ精密金属(株) 浜松事業所 (ISO9001 認証取得)                                   |
| 2004年 | カワイ精密金属(株) (ISO9001 認証を全社に拡大)                                     |
| 2005年 | 竜洋工場 (ISO9001 認証取得)   |
| 2008年 | 河合楽器(寧波)有限公司 (ISO9001 認証取得)<br>PT. カワイインドネシア第 3 工場 (ISO9001 認証取得) |
| 2009年 | PT. カワイインドネシア第 1・第 2 工場 (ISO9001 認証取得)                            |
| 2013年 | 上海カワイ電子有限公司 (ISO9001 認証取得)  |
| 2016年 | (株)カワイハイパーウッド (ISO9001 認証取得)                                      |

### お客様満足度向上の取り組み

#### お客様相談室

楽器購入前のご相談、購入後の楽器のご使用方法に関するご相談、品質に関するご相談等、お客様から寄せられる様々なご質問に誠実で迅速な対応を行うべく、お客様相談室で受付を行っています。音楽を愛するスタッフが皆様にとってかけがえのないパートナーを目指してサービスに努めています。

いただいたご意見は総合的に分析し社内にフィードバックすることで、製品の品質やサービスの改善に活かしています。

▶お客様相談室 TEL : 053-457-1311

受付時間 : 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日および弊社規定の休日を除きます)

#### お客様サポートサイト

カワイお客様サポートサイトでは、ピアノの修理や調律、各種製品の修理などのアフターサービス、カタログや取扱い説明書、プログラム更新等の各種データのダウンロード、カワイピアノ、デジタルピアノ等のカタログ請求や試弾のご予約、見積依頼のためのサポートサイトをホームページ上に設けてサービスに努めています。

▶お客様サポート  
<https://www.kawai.jp/support/>



コーポレート・ガバナンス

# 健全な企業経営体制を構築しています



## コーポレート・ガバナンス基本方針

### ■ 目的およびコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

株式会社河合楽器製作所グループは、「経営の理念」に基づき、持続的な企業価値の向上を実現するために、コーポレート・ガバナンス基本方針を制定し、コーポレート・ガバナンスの充実に継続的に取り組めます。

この基本方針では、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方やステークホルダーとの関係、コーポレート・ガバナンス体制など、6つの章に定めています。

▶コーポレート・ガバナンス基本方針  
<https://www.kawai.co.jp/company/governance/>



## 内部統制システムに関する基本的な考え方

カワイでは「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期経営計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましては、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その整備を推進しています。

## 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めています。

## 当社のコーポレート・ガバナンスについて

当社は経営の理念に基づき、持続的な成長と企業価値の向上を実現するために、コーポレート・ガバナンス基本方針を制定しています。そして、その方針に沿ってガバナンス体制を構築し、意思決定の迅速化、経営の健全性と透明性の向上を図ってまいりました。

そうした中、2021年6月にコーポレートガバナンス・コードが改訂され、企業のガバナンスへの取り組みが更に求められるようになり、当社においてもプライム市場への移行に伴い、ガバナンスの強化を図っていかねばなりません。今後は、種々の課題に対し取り組み、解決することで、より高いガバナンスの水準を備えていきたいと考えております。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆

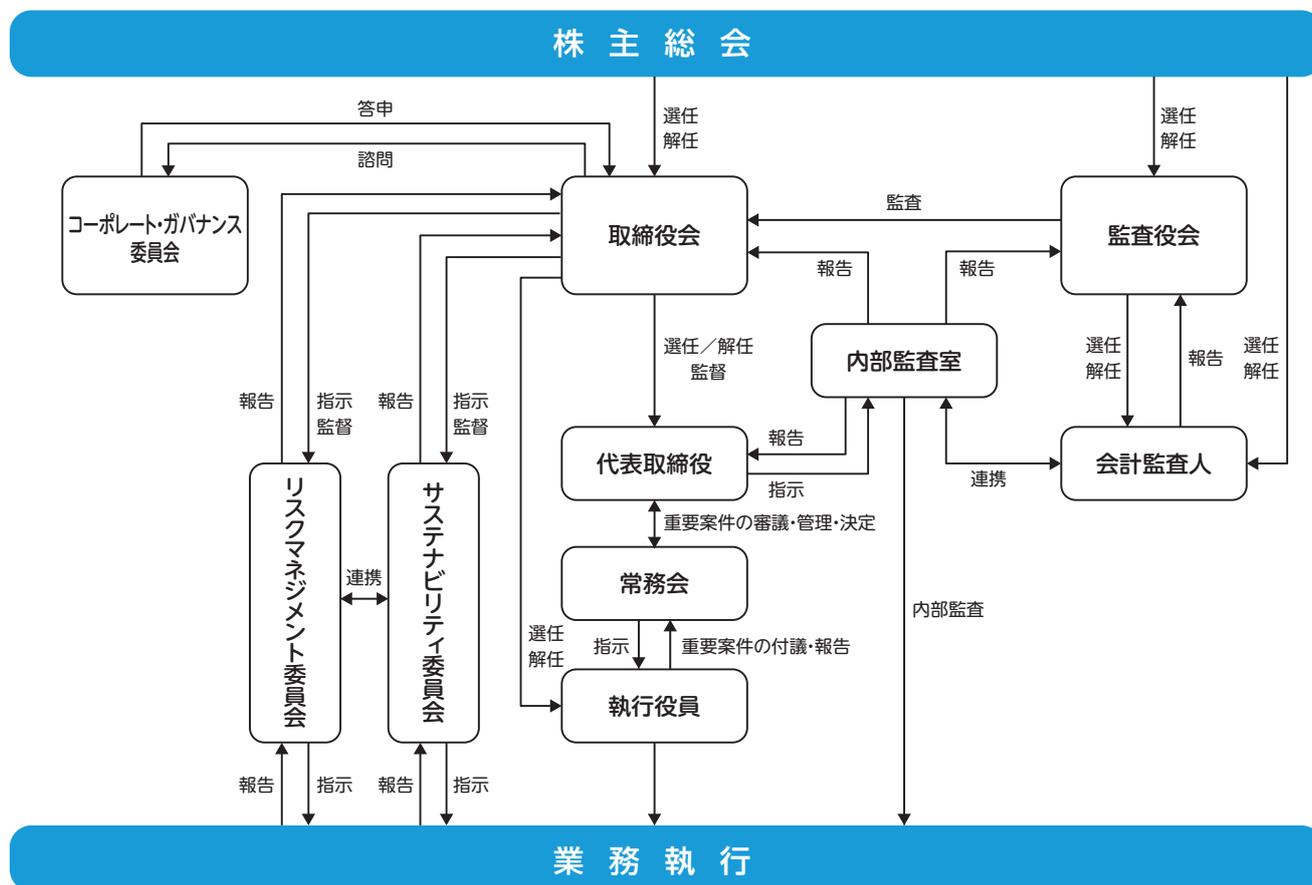
コーポレート・ガバナンス

# 経営の透明性と公平性の確保に努めています



## コーポレート・ガバナンス体制の状況

当社は、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方に基づき、内部統制の充実、コンプライアンス体制の整備、経営の透明性と公平性の確保に努め、持続的成長と継続的な企業価値の向上を図っています。



### 取締役会

社外取締役を含む取締役で構成。社外取締役には客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めています。また、2002年4月より導入した執行役員制度を2005年6月に改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。

### 監査役会

社外監査役を含む監査役で構成。監査役会は、監査方針と分担を定め、各監査役はこれに従い、定期的に各業務執行部門、グループ会社の監査を実施するとともに、取締役会をはじめ重要な会議に出席し、的確な状況の把握と意見具申を行い取締役の職務執行状況の監査機能の充実を図っています。

### コーポレート・ガバナンス委員会

取締役会の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。

### 経営会議体

全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、執行役員の業務執行状況や各部門の生産・販売状況を確認し、重点戦略の評価および検討を行う事業別や地域別の各戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。

### 内部監査

「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の遵守状況についての監査を行っています。

# 取締役会の実効性向上に取り組んでいます



## 取締役の専門性・多様性

当社では、グローバルでの成長、競争力強化、著しいビジネス環境の変化に迅速に対応するために、取締役・監査役の多様化に努めています。また、取締役会全体として「企業経営」「法務・リスク管理」「財務・会計」「製造・技術」「営業マーケティング」「グローバル」および「業界知識（音楽・楽器）」の知識、経験、能力をバランスよく備えることで、変化の激しい経営環境に迅速・的確に対応しスピーディーな意思決定を目指しています。

## 取締役会の実効性評価

当社では、コーポレート・ガバナンスの実効性を高めるための取り組みの一環として、取締役会の運営の改善・機能向上を目的に、取締役会の実効性に関する評価を毎年実施しております。2023年3月に実施しました実効性評価について、以下の通り概要をお知らせいたします。

### ■ 実施内容

取締役会を構成する取締役・監査役（全14名）を対象にアンケート形式で調査を実施しました。2023年3月期においては、その実効性を中立的・客観的に検証するため、外部機関を使用したアンケートを実施し、その集計結果に基づく分析報告を踏まえ評価を行いました。

#### 【評価項目】

2023年3月期における当社取締役会の実効性について（全38問）

- ・取締役会の構成
- ・取締役会の運営
- ・取締役会の議論
- ・取締役・監査役に対する支援体制
- ・その他

#### 【回答方法】

5段階評価および自由回答

#### 【分析・評価】

外部機関により回答を集計し、その分析結果を当社のコーポレート・ガバナンス委員会で検討し、取締役会で評価する

### ■ 分析・評価結果

- ・全体として概ね肯定的な評価が得られており、取締役会の実効性が確保されていると判断いたしました。
- ・中でも取締役会の資料準備やスケジュールリング、審議時間の確保等の運営面については評価が高かった一方で、役員に求められるトレーニングの機会提供や自由闊達で建設的な議論・意見交換については課題認識が見られました。
- ・前回の実効性評価において課題とされました、社外取締役の増員や女性取締役の登用については、前回同様評価が低かったものの、本年6月の定時株主総会における取締役選任議案の決議により改善される見込みです。

### ■ 実効性向上へ向けた今後の取り組み

本実効性評価を踏まえ、課題認識が見られた点については、取締役・監査役に求められる役割と責務を果たすために必要な知識を習得できる機会を提供し、取締役会運営の更なる改善により審議の活性化を図るなど、十分な検討を行ったうえで迅速に対応し、取締役会の機能を高める取り組みを継続的に進めてまいります。

リスクマネジメント

# リスク管理レベルの強化に取り組んでいます



## リスク管理体制

カワイのリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めています。

## リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取り締役に報告しています。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしています。

### 地球環境委員会

「地球環境憲章」、「カワイ環境方針」、「グリーン調達ガイドライン」、「木材調達ガイドライン」等を制定し、また環境に関する法令の遵守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。

### 製品安全対策委員会

万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があるかと判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。

### 中央防災対策委員会

カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。

### 海外安全対策委員会

海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。

### 情報セキュリティ委員会

情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。

### 中央安全衛生委員会

カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。

### 企業倫理委員会

コンプライアンスに関する基本方針の審議を行い決定し、その方針の進捗状況を確認したり、コンプライアンスに関する規程・マニュアルなどの制定を行っています。またその他に法令、企業倫理に関わる違反案件があったときは、その対応策の協議を行い経営層への具申を行います。

## BCP (事業継続計画)

カワイは、大規模地震等の緊急事態が発生した際に、従業員の安全を確保し、事業資産への被害を最小限に食い止め、当社の事業を継続させ、いち早く事業全体を全復旧させるために、平常時や緊急時における様々な対策や方法をまとめた BCP (事業継続計画) を策定しています。BCP を遂行する上で最も重要なことは、人命の安全確保とその確認です。そのため、安否情報確認システムを導入するとともに、防災ハンドブックを配布しています。

### 安否情報確認システム

災害発生時に、迅速に従業員の安否確認をすることは重要です。当社では、大規模地震等の災害発生時に自動的にメールを一斉送信し集計する、安否情報確認システムを導入しています。定期的に従業員に向けて訓練を行うことで、有事の際に迅速に対応できるよう努めています。

### 防災ハンドブック

大規模地震等の災害に備え、災害に関する知識や情報、日頃の備えや災害発生時の対応などについてまとめた、防災ハンドブックを発行しています。このハンドブックでは BCP についても分かりやすく説明することで従業員への周知に努めています。



## コンプライアンスに対する基本的な考え方

カワイグループでは、コンプライアンスを単なる法令等遵守にとどまらず、会社内の規程などを守り、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事と位置づけ、全従業員が取り組むコンプライアンス経営を推進しております。具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含した「カワイ倫理規範」、「倫理行動規準」を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しています。

### カワイ倫理規範・倫理行動規準（要旨）

- ・法令および社内既定の遵守
- ・高い道徳観と倫理観に基づく行動
- ・違法・反倫理的取引の禁止
- ・業務活動と私的活動の峻別
- ・基本的人権と個人の尊厳の尊重
- ・差別・ハラスメントの禁止
- ・反社会的行為の禁止
- ・地球環境の保全
- ・顧客満足度の向上
- ・自由競争および公正取引
- ・購入先・協力先・販売店との公正な取引
- ・贈収賄および腐敗行為の禁止
- ・事実に反する広告宣伝の禁止
- ・企業情報の適切な開示
- ・インサイダー取引の禁止
- ・会社財産の管理および適正な使用
- ・知的財産権の保護

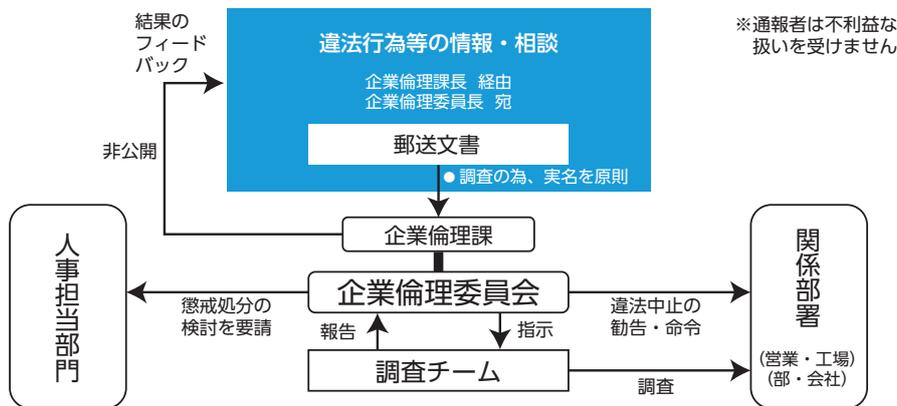
## コンプライアンス推進体制

カワイでは、コンプライアンスに関する協議、諮問機関として企業倫理委員会を設置しコンプライアンス経営の推進に努めています。企業倫理委員会は、コンプライアンス上の問題に関する基本方針の決定、その推進状況の把握、重大な法令違反案件についての対応策の協議と社長および取締役会への具申、企業倫理課への指示を行います。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理課は、違法行為等の速やかな認識と是正のために「企業倫理ホットライン」を運営するとともに、各種コンプライアンスプログラムの企画と教育により従業員への啓蒙を進めています。

## 企業倫理ホットライン

カワイでは、コンプライアンスに関する違反の早期発見と解決を図るために、内部通報窓口として「企業倫理ホットライン」を設置しています。通報は実名を原則とし、この利用により通報者が不利益な扱いを受けることのないよう「企業倫理運用基準」に定められています。



## コンプライアンス教育と啓蒙

企業倫理課が主体となり、従業員への教育・啓蒙として「企業倫理月間(10月)における啓発活動」「企業倫理ニュースの毎月発行」「コンプライアンスリスク洗い出しチェックリストによるセルフチェック」「コンプライアンス研修」等を実施することでコンプライアンス意識の向上に努めています。

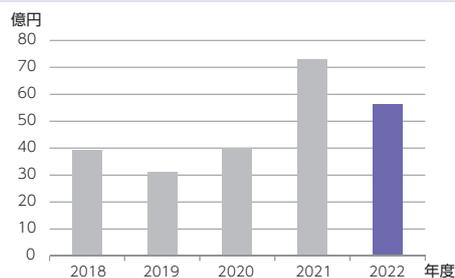
## 会社概要と主な事業

## 会社概要

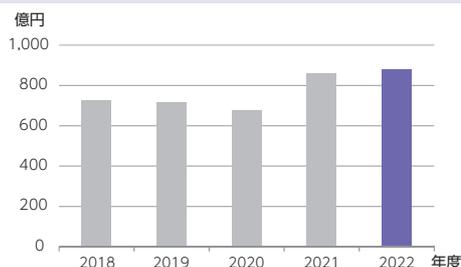
社名 株式会社河合楽器製作所  
 本社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地  
 創立 1927年(昭和2年)8月9日  
 設立 1951年(昭和26年)5月15日  
 代表者 代表取締役会長兼社長 河合弘隆  
 資本金 7,122百万円(2022年3月末現在)

|              |    | 2020   | 2021   | 2022   |
|--------------|----|--------|--------|--------|
| 売上高<br>(百万円) | 単独 | 48,487 | 59,359 | 62,338 |
|              | 連結 | 67,520 | 85,703 | 87,771 |
| 従業員数<br>(名)  | 単独 | 1,302  | 1,280  | 1,286  |
|              | 連結 | 2,868  | 2,969  | 2,977  |

経常利益(連結)

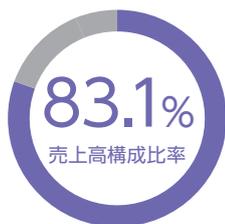


売上高(連結)



## 主な事業

## 楽器教育事業



ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務  
 音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフト、鋳鉄鋳物の製造及び販売

- 国内での販売  
 (株)河合楽器製作所、(株)全音楽譜出版社
- 海外での販売  
 カワイアメリカコーポレーション  
 カワイヨーロッパ GmbH  
 カワイカナダミュージック Ltd.  
 カワイオーストラリア PTY.Ltd.  
 PT. カワイミュージックインドネシア  
 河合楽器(中国)有限公司 ※  
 河合貿易(上海)有限公司 ※  
 カワイ UK Ltd.  
 カワイフランス SAS  
 カワイピアノ・ロシア
- 楽器の調律・修理  
 (株)河合楽器製作所
- 国内での楽器製造  
 (株)河合楽器製作所、(株)全音楽譜出版社
- 海外での楽器製造  
 PT. カワイインドネシア  
 河合楽器(寧波)有限公司  
 上海カワイ電子有限公司
- 国内での音楽教室・体育教室の運営  
 (株)河合楽器製作所
- 海外での音楽教室の運営  
 PT. カワイミュージックスクールインドネシア
- 鋳鉄鋳物の製造・販売  
 (株)カワイキャスティング
- その他  
 (株)カワイ友の会

## 素材加工事業



電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造  
 カワイ精密金属(株)
- 自動車部品用材料の製造  
 (株)カワイハイパーウッド
- 防音室・音響部材の製造・販売  
 (株)カワイ音響システム

## その他の事業



- 情報関連事業、金融関連事業、保険代理店事業 他  
 (株)カワイビジネスソフトウェア  
 (株)カワイアシスト

※ 河合貿易(上海)有限公司は、効力発生日を2023年1月31日とし、同社を存続会社、河合楽器(中国)有限公司を消滅会社とする吸収合併を行っております。また、2023年3月28日に商号をカワイ楽器(中国)有限公司に変更いたしました。

# マテリアルバランス

2022年度の国内におけるエネルギー、化学物質などの投入量とCO<sub>2</sub>、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。



環境負荷データ

# 環境負荷サイト別一覧

|   |        |                     | 基準年                |        |        |        |        |        |        |        |        |
|---|--------|---------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|   |        |                     | 2016               | 2017   | 2018   | 2019   | 2020   | 2021   | 2022   | 基準年比   |        |
| 竜洋工場<br>静岡県磐田市<br><br>事業内容：ピアノ製造<br>敷地面積：168,218m <sup>2</sup>                    | INPUT  | 電気                  | GJ                 | 57,787 | 55,627 | 55,292 | 54,549 | 48,950 | 55,623 | 56,678 | 1.9%   |
|   |        | 燃料                  | GJ                 | 17,861 | 18,032 | 16,876 | 16,668 | 14,989 | 14,894 | 13,720 | -7.9%  |
|   |        | 水                   | 千m <sup>3</sup>    | 35.6   | 38.1   | 45.2   | 48.5   | 48.6   | 51.9   | 47.1   | -9.2%  |
|   |        | 化学物質                | t                  | 36.8   | 39.1   | 44.6   | 46.1   | 38.6   | 54.0   | 52.2   | -3.3%  |
|   | OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | t -CO <sub>2</sub> | 3,691  | 3,585  | 3,465  | 3,310  | 2,847  | 2,873  | 2,837  | -1.3%  |
|   |        | 化学物質                | t                  | 9.1    | 10.1   | 12.3   | 13.8   | 10.1   | 13.4   | 12.8   | -4.5%  |
|   |        | 廃棄物 焼却・埋立           | t                  | 0.3    | 0.2    | 0.2    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 廃棄物 再資源化            | t                  | 823.2  | 836.0  | 854.5  | 921.5  | 764.6  | 945.7  | 935.4  | -1.1%  |
| カワイ精密金属(株) 浜松工場<br>静岡県浜松市北区新郡田<br><br>事業内容：金属部品製造<br>敷地面積：26,817m <sup>2</sup>    | INPUT  | 電気                  | GJ                 | 63,386 | 68,526 | 67,822 | 63,834 | 59,118 | 65,141 | 57,932 | -11.1% |
|   |        | 燃料                  | GJ                 | 21.9   | 22.7   | 29.1   | 29.4   | 22.0   | 23.6   | 21.1   | -10.6% |
|   |        | 水                   | 千m <sup>3</sup>    | 28.5   | 30.0   | 31.4   | 28.4   | 23.6   | 23.8   | 20.4   | -14.3% |
|   |        | 化学物質                | t                  | 3.0    | 1.8    | 3.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   | OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | t -CO <sub>2</sub> | 3,069  | 3,305  | 3,216  | 2,898  | 2,528  | 2,480  | 2,258  | -9.0%  |
|   |        | 化学物質                | t                  | 3.0    | 1.1    | 2.6    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 廃棄物 焼却・埋立           | t                  | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 廃棄物 再資源化            | t                  | 58.3   | 57.0   | 64.0   | 54.7   | 32.3   | 32.6   | 26.3   | -19.3% |
| カワイ精密金属(株) 松本工場<br>長野県松本市笹賀<br><br>事業内容：金属部品製造<br>敷地面積：14,612m <sup>2</sup>       | INPUT  | 電気                  | GJ                 | 42,748 | 48,971 | 49,627 | 46,436 | 45,629 | 50,566 | 45,079 | -10.9% |
|   |        | 燃料                  | GJ                 | 5,393  | 5,473  | 4,194  | 3,417  | 4,024  | 3,867  | 3,258  | -15.7% |
|   |        | 水                   | 千m <sup>3</sup>    | 72.3   | 79.6   | 67.0   | 69.1   | 79.0   | 74.5   | 65.5   | -12.1% |
|   |        | 化学物質                | t                  | 39.5   | 33.5   | 15.2   | 0.4    | 0.5    | 0.4    | 0.4    | 0.0%   |
|   | OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | t -CO <sub>2</sub> | 2,449  | 2,747  | 2,649  | 2,314  | 2,191  | 2,154  | 1,950  | -9.5%  |
|   |        | 化学物質                | t                  | 30.6   | 26.1   | 8.6    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 廃棄物 焼却・埋立           | t                  | 2.2    | 2.1    | 1.8    | 1.9    | 1.1    | 7.2    | 8.7    | 20.8%  |
|   |        | 廃棄物 再資源化            | t                  | 19.4   | 29.9   | 16.5   | 8.2    | 15.3   | 8.4    | 9.5    | 13.1%  |
| (株) カワイキャスティング<br>石川県羽咋市柳田町<br><br>事業内容：鉄鉄鑄物の製造及び販売<br>敷地面積：41,000m <sup>2</sup>  | INPUT  | 電気                  | GJ                 | 70,178 | 65,776 | 59,159 | 54,354 | 54,472 | 64,017 | 64,741 | 1.1%   |
|   |        | 燃料                  | GJ                 | 33,656 | 28,847 | 23,875 | 21,442 | 20,354 | 28,796 | 28,727 | -0.2%  |
|   |        | 水                   | 千m <sup>3</sup>    |        |        |        |        |        |        |        |        |
|   |        | 化学物質                | t                  | 22.8   | 19.5   | 14.6   | 13.9   | 12.8   | 18.2   | 19.4   | 6.6%   |
|   | OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | t -CO <sub>2</sub> | 7,807  | 7,080  | 5,499  | 4,975  | 4,991  | 6,976  | 6,682  | -4.2%  |
|   |        | 化学物質                | t                  | 1.9    | 1.7    | 2.5    | 2.7    | 2.0    | 2.6    | 2.6    | 0.0%   |
|   |        | 廃棄物 焼却・埋立           | t                  | 349.7  | 345.1  | 298.5  | 212.6  | 237.9  | 197.7  | 208.9  | 5.7%   |
|   |        | 廃棄物 再資源化            | t                  | 854.6  | 611.9  | 622.9  | 531.9  | 500.9  | 659.9  | 774.7  | 17.4%  |
| (株) カワイハイパーウッド<br>静岡県浜松市東区中郡町<br><br>事業内容：自動車内装部品製造<br>敷地面積：15,074m <sup>2</sup>  | INPUT  | 電気                  | GJ                 | 15,084 | 14,134 | 16,415 | 13,174 | 11,235 | 9,531  | 7,546  | -20.8% |
|   |        | 燃料                  | GJ                 | 3,595  | 2,885  | 2,771  | 2,517  | 2,147  | 2,210  | 1,250  | -43.4% |
|   |        | 水                   | 千m <sup>3</sup>    | 3.6    | 3.0    | 3.4    | 2.7    | 2.3    | 2.8    | 1.9    | -32.1% |
|   |        | 化学物質                | t                  | 16.1   | 13.8   | 14.8   | 9.9    | 7.2    | 1.5    | 0.3    | -80.0% |
|   | OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | t -CO <sub>2</sub> | 982    | 887    | 974    | 775    | 631    | 517    | 382    | -26.1% |
|   |        | 化学物質                | t                  | 2.8    | 2.4    | 2.6    | 2.1    | 1.5    | 0.3    | 0.1    | -66.7% |
|   |        | 廃棄物 焼却・埋立           | t                  | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 廃棄物 再資源化            | t                  | 117.6  | 79.7   | 91.6   | 77.1   | 47.6   | 46.0   | 36.4   | -20.9% |
| (株) カワイ音響システム<br>静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町<br><br>事業内容：防音室・音響部材の製造<br>敷地面積：2,972m <sup>2</sup> | INPUT  | 電気                  | GJ                 | 920    | 871    | 865    | 881    | 1,066  | 1,119  | 1,248  | 11.5%  |
|   |        | 燃料                  | GJ                 | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 水                   | 千m <sup>3</sup>    | 0.2    | 0.2    | 0.2    | 0.2    | 0.2    | 0.2    | 0.2    | 0.0%   |
|   |        | 化学物質                | t                  |        |        |        |        |        |        |        |        |
|   | OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | t -CO <sub>2</sub> | 51     | 48     | 48     | 47     | 55     | 50     | 58     | 16.0%  |
|   |        | 化学物質                | t                  |        |        |        |        |        |        |        |        |
|   |        | 廃棄物 焼却・埋立           | t                  | 3.3    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 廃棄物 再資源化            | t                  | 11.4   | 7.1    | 11.0   | 15.0   | 18.0   | 27.0   | 30.8   | 14.1%  |
| 本社<br>静岡県浜松市中区寺島町<br><br>事業内容：本社機能、研究開発<br>敷地面積：6,784m <sup>2</sup>               | INPUT  | 電気                  | GJ                 | 5,827  | 6,207  | 5,751  | 5,574  | 5,710  | 5,660  | 5,285  | -6.6%  |
|   |        | 燃料                  | GJ                 | 26     | 140    | 102    | 160    | 166    | 136    | 15     | -89.0% |
|   |        | 水                   | 千m <sup>3</sup>    | 3.6    | 3.6    | 3.4    | 3.7    | 3.8    | 3.2    | 2.9    | -9.4%  |
|   |        | 化学物質                | t                  |        |        |        |        |        |        |        |        |
|   | OUTPUT | CO <sub>2</sub> 排出量 | t -CO <sub>2</sub> | 296    | 320    | 289    | 281    | 275    | 246    | 224    | -8.9%  |
|   |        | 化学物質                | t                  |        |        |        |        |        |        |        |        |
|   |        | 廃棄物 焼却・埋立           | t                  | 4.5    | 4.2    | 5.5    | 3.7    | 11.1   | 0.0    | 0.0    |        |
|   |        | 廃棄物 再資源化            | t                  | 24.1   | 22.9   | 78.9   | 56.8   | 55.8   | 75.9   | 54.5   | -28.2% |

## 第三者意見



東京工業大学 名誉教授  
中崎 清彦 先生

本報告書では、まず、昨年度からスタートした「第7次中期経営計画」について振り返りが記載されている。初年度の連結損益は国際情勢の変化もあり減益となったとあるが、売上高は好調に推移し増収となっており、全体として堅調と見ることができる。また、売上増に貢献しているのは、カワイの高い技術に支えられた優れた製品が認められたものと考えられる。優れた製品であることは、「第8回仙台国際音楽コンクール」および「第5回高松国際ピアノコンクール」などの国際コンクールにおいてフルコンサートピアノ SK-EX の演奏者が上位を独占していることにもあらわれている。

引き続き、企業価値の向上のために欠かすことのできない環境・社会・ガバナンス (ESG) への取り組みと、グループ全体のサステナビリティ活動を推進することを目的とした、サステナビリティ委員会が設置されたことが報告されている。また、サステナビリティのための取り組みポリシーとそれに関連するSDGsについては、2ページにわたって、わかりやすく示されていることから、この2ページを見るだけでもグループの取り組みが俯瞰できる優れたまとめになっている。

なお、本年度の報告書から新規に掲載されている主な項目は、環境面では「TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に基づく情報開示」、社会面では「品質・顧客満足」、ガバナンス面では「取締役会の実効性評価」「BCP (事業継続計画)」である。

カワイは、これまでの報告書にも、すでに ESG についての

取り組みを先進的に情報公開してきているが、本報告書では、TCFD の提言を強く意識し、その提言に形式を合わせて、ESG の取り組みを経営戦略へ反映させることを明確にしたものになっている。また、品質・顧客満足に関しては、品質およびサービスの維持向上のために品質マネジメントシステム ISO9001 の導入を推進していることに加えて、「お客様相談室」、「お客様サポートサイト」を通じて顧客満足度向上の取り組みが行われていることが報告されている。さらに、ガバナンス面では取締役会の運営の改善・機能向上を目的とした、取締役会の実効性に関する評価、および今後も継続的に取締役会の機能を高める取り組みを行うことについても紹介されている。加えて、大規模地震等の緊急事態が発生した際に、従業員の安全を確保し、事業資産への被害を最小限に食い止めること、また、事業を継続させ、いち早く事業全体を全復旧させるための様々な対策や方法をまとめたBCPの策定についても記載されている。

以上述べたように、本報告書から、これまでもカワイが先進的に行ってきた ESG に対する取り組みを世界基準の方法に形式を整えて公開する (TCFD) ように進化させたことがわかる。これは、世界全体の環境問題への意識の高まりにより、企業の価値が財務状況以外の部分でも判断されるようになったことに対応するもので、カワイがその経営理念である「創造性豊かな好感度企業をめざして」の実現に向け、さらに、魅力ある企業として発展していくことと期待される。

### ■ 第三者意見をうけて

中崎先生には、本年度も第三者意見として、本報告書に対するご評価、貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023 年度の報告書では「TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言に基づく情報開示」として、「ガバナンス」「リスク管理」「戦略」「指標と目標」の4項目を開示しております。その中で、気候変動に対する当社のスタンスをご評価いただきましたことは大変喜ばしく、さらに気候変動への対応を積極的に推進してまいります。

また「第8回仙台国際音楽コンクール」「第5回高松国際ピアノコンクール」において上位入賞者をはじめ多くの方々にフルコンサートピアノ SK-EX を演奏して頂いたことをカワイの技術力・品質としてご評価いただいたことは大いに励みになるお言葉として受け止めております。

今後も自然との共生を大切に、文化貢献活動を一層推し進め、長期ビジョン「100年ブランドの確立」と持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)

**KAWAI**  
もっと伝えたい、感動を。

**株式会社 河合楽器製作所**

お問い合わせ先

カワイ地球環境委員会

事務局：コーポレート企画室CS環境課

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地

TEL: 053-457-1252 FAX: 053-457-1300

URL: <https://www.kawai.co.jp/>

